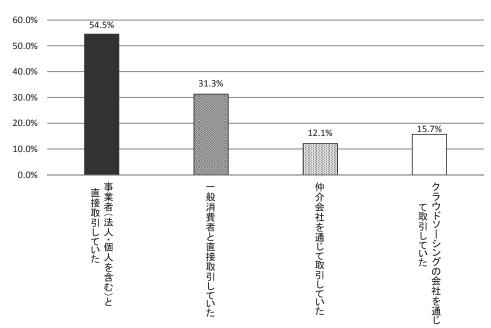
第6章 「クラウドワーカー」の就業実態の特徴

第1節 はじめに

第6章では、クラウドワーカーの就業実態の特徴を取り上げる。本章では、調査票の SC3において、クラウドワーカーを「インターネットを利用して不特定多数の人に業務を 発注したり、受注者の募集が出来る Web サービスを提供するクラウドソーシング会社を通 じて仕事を受注している人」と定義している。

この定義に合致するサンプルの抽出方法を説明する。本調査では、スクリーニング調査 SC8 において、取引相手について確認している 1 。この項目を利用すれば、「独立自営業者」の働き方別の就業実態を確認することができる。この設問の選択肢は、「1. 事業者(法人・個人を含む)と直接取引していた」、「2. 一般消費者と直接取引していた」、「3. 仲介会社を通じて取引していた」、「4. クラウドソーシングの会社を通じて取引していた」の4つがあるが、本章の対象者は「4. クラウドソーシングの会社を通じて取引していた」を選んだ人になる。図表 6-1-1 を見ると、その人数は 1295 人であり、サンプル全体(8256)の 15.7%になる。



図表 6-1-1 サンプル全体の取引相手 (MA) (n=8256)

ただし、SC8 自体はマルチアンサーの設問であり、仮に SC8 において、「4. クラウドソーシングの会社を通じて取引していた」を選択していても、その後の回答は、「クラウドワ

¹ SC8 の文言は以下の通り。「自営業・フリーランス・個人事業主・クラウドワーカーとしてのお仕事の取引相手は下記のどれに当てはまりますか」。

ーカー」としての状況を反映したものとは必ずしも言えない²。

そこで、本章では、SC8 の「1. 事業者(法人・個人を含む)と直接取引していた」、「2. 一般消費者と直接取引していた」、「3. 仲介会社を通じて取引していた」、「4. クラウドソーシングの会社を通じて取引していた」のうち、「4. クラウドソーシングの会社を通じて取引していた」のみを選択したサンプルのみを取り出した。そのサンプルは 1068 であり、サンプル全体(8256)の 12.9%になる(図表 6-1-2)。本章では、このサンプルを「クラウドワーカー」として、仕事別に確認していく。

1.「クラウドワーカー」のプロフィール(仕事別)

「クラウドワーカー」のプルフィールを仕事別に確認しておこう。全体と「クラウドワーカー」全体を比較すると、全体は「男性」が多く、「クラウドワーカー」全体は「女性」が多い。「クラウドワーカー」を仕事別に見ていくと、「男性」が多いのは、「IT 関連」と「現場作業関連」、「女性」が多いのは、「事務関連」、「デザイン・映像製作関連」、「専門業務関連」、「生活サービス、理容・美容」である。

年齢について見ると、全体は「35 歳~44 歳」と「45 歳~54 歳」の割合が高いが、「クラウドワーカー」全体は、「25 歳~34 歳」、「35 歳~44 歳」、「44 歳~54 歳」が多い。「クラウドワーカー」は、全体に比べると、年齢が若い層が多いと言える。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、仕事によって割合は異なるものの、「25 歳~34 歳」、「35 歳~44 歳」、「44 歳~54 歳」が多く、「クラウドワーカー」全体に見られる傾向が概ねあてはまる。

学歴について見ると、全体と「クラウドワーカー」全体では、「大学」の割合が最も高く、違いは見られない。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「生活関連サービス、理容・美容」において、「大学」の割合が低く、「各種専門」と「短大・高専」の割合が高い。婚姻状態は、全体、「クラウドワーカー」全体、「クラウドワーカー」を仕事別に見ても、「既婚」が多い。主な生計について見ると、全体と「クラウドワーカー」全体は、「自分」が最も割合が高い。その割合は、全体で5割を超え、「クラウドワーカー」全体は4割である。主な生計について、「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「事務関連」と「デザイン、映像製作関連」を除く仕事で、「自分」の割合が最も高い。専業・兼業を見ると、全体は「専業」と「兼業」はほぼ同じ割合であるが、「クラウドワーカー」全体は「兼業」が多い。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、いずれの仕事においても、「兼業」の割合が高い。

 $^{^2}$ SC8 で選択肢 1 と 4 を選んだ人が、主たる取引相手からの報酬に回答した場合、それが選択肢 4 のクラウドソーシングの会社を通じて得た仕事の報酬なのか、それとも選択肢 1 の「独立自営業者」個人が営業活動をして得た仕事の報酬なのかがはっきりしなくなるからである。本章では、前者の場合が「クラウドワーカー」としての報酬額となり、後者は「独立自営業者」としての報酬額となる。

					主な仕事				
		事務関連	デザイン・ 映像製作関 連	IT関連	専門業務関連	生活関連 サービス、 理容・美容	現場作業 関連	クラウド ワーカー全 体	全体
	n	586	64	73	217	33	95	1068	8256
性別	男性	36.7%	42.2%	71.2%	44.7%	33.3%	68.4%	43.7%	62.9%
	女性	63.3%	57.8%	28.8%	55.3%	66.7%	31.6%	56.3%	37.1%
年齢	15歳~24歳	3.6%	1.6%	0.0%	2.8%	3.0%	0.0%	2.7%	1.1%
	25歳~34歳	39.8%	35.9%	21.9%	22.1%	18.2%	14.7%	31.8%	15.2%
	35歳~44歳	32.6%	29.7%	42.5%	36.4%	36.4%	33.7%	34.1%	26.0%
	45歳~54歳	18.3%	26.6%	21.9%	24.9%	21.2%	24.2%	21.0%	28.0%
	55歳~64歳	4.9%	4.7%	8.2%	11.5%	15.2%	14.7%	7.7%	18.0%
	65歳以上	0.9%	1.6%	5.5%	2.3%	6.1%	12.6%	2.7%	11.6%
学歴	中学•高校	20.7%	20.6%	11.0%	20.0%	18.8%	24.2%	20.2%	21.0%
	各種専門	10.8%	14.3%	13.7%	7.9%	21.9%	13.7%	11.2%	10.6%
	短大•高専	14.4%	15.9%	12.3%	12.6%	28.1%	8.4%	13.8%	13.6%
	大学	49.1%	44.4%	54.8%	53.0%	25.0%	50.5%	49.4%	47.7%
	大学院	4.8%	4.8%	8.2%	6.5%	6.3%	3.2%	5.3%	6.9%
	無回答	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
婚姻状態	未婚•離死別	35.8%	42.2%	45.2%	35.0%	30.3%	32.6%	36.2%	39.1%
	既婚	64.2%	57.8%	54.8%	65.0%	69.7%	67.4%	63.8%	60.9%
主な生計	自分	36.5%	34.4%	54.8%	41.5%	39.4%	51.6%	40.1%	54.8%
	双方	20.0%	28.1%	21.9%	24.9%	33.3%	26.3%	22.6%	23.7%
	自分以外	43.3%	34.4%	23.3%	33.2%	27.3%	22.1%	37.0%	20.7%
	その他	0.2%	3.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%
専業・兼業	専業	24.9%	31.3%	27.4%	25.8%	27.3%	34.7%	26.6%	49.5%
	兼業	75.1%	68.8%	72.6%	74.2%	72.7%	65.3%	73.4%	50.5%

図表 6-1-2 サンプルのプロフィール (仕事別) (列%)

第2節 「クラウドワーカー」の仕事の受注/仕事の特徴

1. 「クラウドワーカー」の仕事の受注

「クラウドワーカー」の仕事の受注と仕事の特徴では、「クラウドワーカー」がどのように 仕事を受注しているのか(仕事の受注)、その仕事はどんな特徴を有するか(「クラウドワーカー」が提供する仕事の特徴)を見ていく。

(1) 仕事の受注

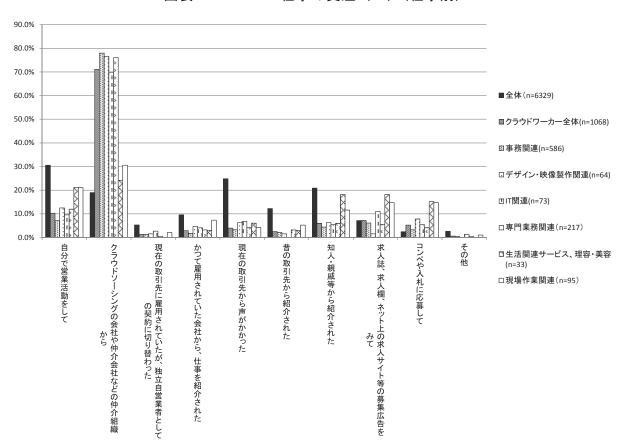
図表 6-2-1 のデータサンプルは 6329 である。これは 8256 から、本調査のスクリーニング調査 SC8 において、「一般消費者と直接取引していた」を回答した 1927 を除いた数値である。

全体を見ると、「自分で営業活動をして(30.6%)」、「現在の取引先から声がかかった(24.8%)」、「知人・親戚等から紹介された(20.9%)」、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織から(19.0%)」の割合が高い。「独立自営業者」は、様々なツールを使って仕事を受注している。「クラウドワーカー」全体を見ると、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織から(71.1%)」の割合が非常に高い。「クラウドワーカー」は、仲介組織を通じて仕事を受注する傾向が強いという特徴が見られる。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、いずれも「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織から」の割合が高いことがわかる。ただし、その割合は仕事によって異なる。「事務関連(70.8%)」、「デザイン・映像製作関連(76.6%)」、「IT関連(69.9%)」、「専門業務関連(76.0%)」では、ほぼ7割に達しているのに対し、「生活関連サービス、理容・

美容(24.2%)」と「現場作業関連(30.5%)」では、 $2 \sim 3$ 割台である。「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」について見ると、他の仕事に比べて、「知人・親戚等から紹介された(生活関連サービス:18.2%、現場作業:11.6%)」、「求人誌、求人欄、ネット上の求人サイト等の募集広告をみて(生活関連サービス:18.2%、現場作業関連:14.7%)」、「コンペや入札に応募して(生活関連サービス:15.2%、現場作業関連:14.7%)」の割合が高い。

「クラウドワーカー」について言えば、「事務関連」、「デザイン・映像製作関連」、「IT 関連」、「専門業務関連」では、クラウドソーシングの会社などの仲介会社が積極的に活用されている一方で、「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」では、クラウドソーシング会社などの仲介組織以外の方法を含めて、仕事を受注している。



図表 6 - 2 - 1 仕事の受注 (MA) (仕事別)

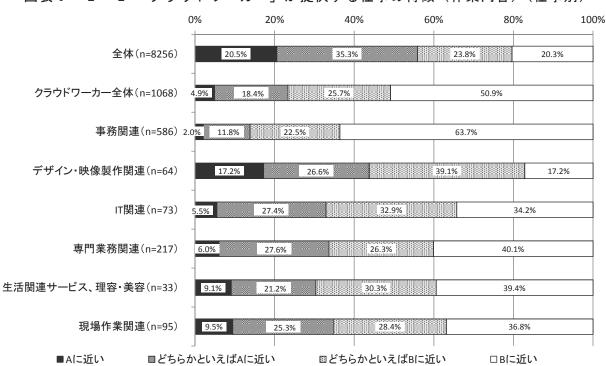
注)全体のデータについては、無回答(144 サンプル)を含めて集計しているが、図表には表示していない。なお、「クラウドワーカー」には無回答はない。

(2)「クラウドワーカー」が提供する仕事の特徴

「クラウドワーカー」が提供する仕事の特徴では、作業内容、受注の困難さ、取引相手の 3つを取り上げる。

① 作業内容

図表 6-2-2 の作業内容では、「独立自営業者」の作業が A: 自分にしかできない作業が多かったのか、B:他の人でもできる作業が多かったのか、どちらに近いのかを聞いている。 A に近い割合(「A に近い」と「どちらかといえば A に近い」の合計)と、B に近い割合(「B に近い」と「どちらかといえば B に近い」の合計)に分けて見ると、A に近い割合は、全体で 55.8%、「クラウドワーカー」全体で 23.3%、B に近い割合は、全体で 44.1%、「クラウドワーカー」全体で 76.6%になる。全体では、A に近い割合の方が高く、「クラウドワーカー」全体では、B に近い割合の方が高い。同じように、「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、どの仕事も B に近い割合が高い。その割合は、特に「事務関連(86.2%)」において高い。



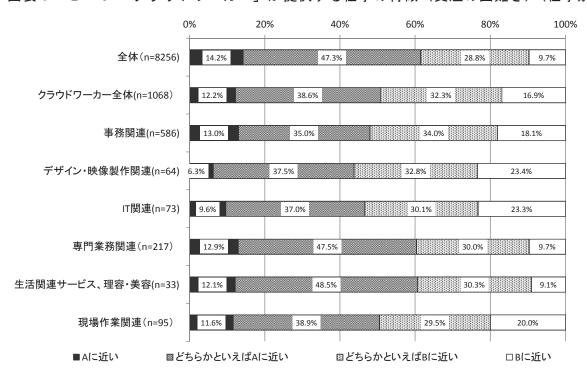
図表 6 - 2 - 2 「クラウドワーカー」が提供する仕事の特徴(作業内容)(仕事別)

注) A = 自分にしかできない作業が多かった/B = 他の人でもできる作業が多かった

② 仕事の受注の困難さ

仕事の受注の困難さでは(図表 6-2-3)、A: 仕事をとりたい時に思うように取れたのか、B: 他の同業者との競合で思うようにとれなかったのか、どちらに近いのかを聞いている。Aに近い割合(「Aに近い」と「どちらかといえば Aに近い」の合計)と Bに近い割合(「Bに近い」と「どちらかといえば Bに近い」の合計)に分けて見ると、Aに近い割合は、全体で 61.5%、「クラウドワーカー」全体で 50.8%、Bに近い割合が高い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、A に近い割合が高いのは、「専門業務関連(60.4%)」、「生活関連サービス、理容・美容(60.6%)」、「現場作業関連(50.5%)」であり、B に近い割合が高いのは、「事務関連(52.1%)」、「デザイン・映像製作関連(56.2%)」、「IT 関連(53.4%)」である。



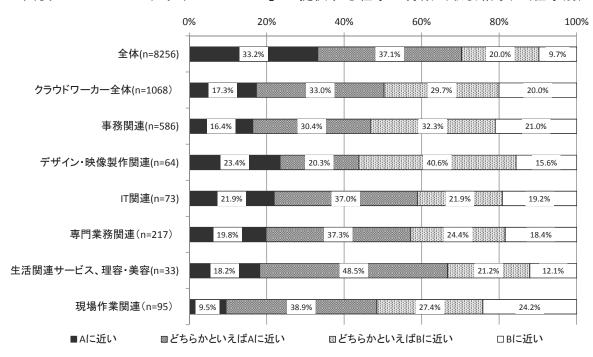
図表 6-2-3 「クラウドワーカー」が提供する仕事の特徴(受注の困難さ)(仕事別)

注) A = 仕事をとりたい時に思うように取れた/B = 他の同業者との競合で思うようにとれなかった

③ 取引相手

取引相手については(図表 6-2-4)、A:特定の取引相手と仕事をすることが多かったのか、B:様々な取引相手と取引をすることが多かったのか、どちらに近いのかを聞いている。Aに近い割合(「Aに近い」と「どちらかといえば Aに近い」の合計)と、Bに近い割合(「Bに近い」と「どちらかといえば Bに近い」の合計)に分けて見ると、Aに近い割合は、全体で 70.3%、「クラウドワーカー」全体で 50.3%、Bに近い割合は、全体で 29.7%、「クラウドワーカー」全体で 49.7%になる。「クラウドワーカー」全体は、全体と比べると、複数の取引相手と仕事をする傾向が見られる。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、A に近い割合が高いのは、「IT 関連(58.9%)」、「専門業務関連(57.1%)」、「生活関連サービス、理容・美容(66.7%)」であり、B に近い割合が高いのは、「事務関連(53.3%)」、「デザイン・映像製作関連(56.2%)」、「現場作業関連(51.6%)」である。



図表6-2-4 「クラウドワーカー」が提供する仕事の特徴(取引相手)(仕事別)

注) A = 特定の取引相手と仕事をすることが多かった/B = 様々な取引相手と仕事をすることが多かった

第3節 「クラウドワーカー」の働き方/報酬

第3節では、「クラウドワーカー」の働き方と報酬にかかわる事柄を取り上げる。「クラウドワーカー」の働き方では、受注後、どのように仕事を進めていくのか、またその仕事にどのくらいの日数と時間をかけているのか、報酬にかかわる事柄では、「独立自営業者」としての仕事の対価としてどのくらいの報酬を得ているのかを取り上げる。

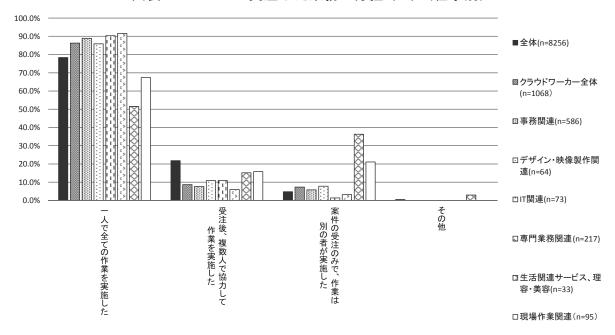
1. 「クラウドワーカー」の働き方

(1) 受注後の仕事の進め方

①業務分担

図表 6-3-1 によると、全体、「クラウドワーカー」全体、「クラウドワーカー」を仕事別に見ても、「一人で全ての作業を実施した」の割合が最も高い。

もっとも「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、その割合には差が見られる。具体的には、「事務関連(88.9%)」、「デザイン・映像製作関連(85.9%)」、「IT 関連(90.4%)」、「専門業務関連(91.7%)」において割合が高い一方で、「生活関連サービス、理容・美容(51.5%)」と「現場作業関連(67.4%)」では、その割合が低いという傾向が見られる。また、「案件の受注のみで、作業は別の者が実施した」では、「生活関連サービス、理容・美容(36.4%)」と「現場作業関連(21.1%)」の割合が他の仕事よりも割合が高い。



図表 6-3-1 受注した業務の分担(MA)(仕事別)

②ネットワーク参加の有無

ネットワーク参加とは、外部の集まりなどへの参加を指す。兼業者を除けば、特定の組織に属さない「独立自営業者」(「クラウドワーカー」を含む)にとって、外部とのつながりは重要だと考えられる。そこで、「クラウドワーカー」がどのくらいネットワークに参加をしているのかを取り上げる。

			137 (1— 3.73	• /
	n	参加している	参加していない	計
全体	8256	30. 3%	69. 7%	100%
クラウドワーカー全体	1068	31. 2%	68. 8%	100%
事務関連	586	29. 0%	71. 0%	100%
デザイン・映像製作関連	64	40. 6%	59. 4%	100%
IT関連	73	37. 0%	63. 0%	100%
専門業務関連	217	34. 1%	65. 9%	100%
生活関連サービス、理容・美容	33	30. 3%	69. 7%	100%
現場作業関連	95	27. 4%	72. 6%	100%

図表 6 - 3 - 2 ネットワーク参加の有無(仕事別)

図表 6-3-2-によると、全体と「クラウドワーカー」全体では、「参加している」が3割程度である。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「デザイン・映像製作関連」と「IT関連」で割合が高く、「事務関連」、「現場作業関連」、「生活関連サービス、理容・美容」において割合が低い。専門性が高い仕事であるほど、外部の集まりなどを含めたネットワーク

に参加する傾向にある。

③書面による契約内容の明示

「主要な取引先事業者 1 社」(以下、主たる取引先)からの書面による契約内容の明示の有無について見ていこう。図表 6-3-3 から図表 6-3-5 までのデータサンプルは 6329 である。

全体を見ると、契約内容が書面を通じて明示されるケースが比較的多いことがわかる。次に、「クラウドワーカー」全体を見ると、書面を通じて契約内容を明示される割合が高い。ただし「クラウドワーカー」全体については、書面を通じて明示される割合と明示されない割合との差は小さい。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「事務関連」、「デザイン・映像製作関連」、「IT 関連」、「専門業務関連」において、契約内容が書面を通じて明示される割合が高い一方で、「生 活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」では、契約内容が書面で明示されない割 合が高い。

図表6-3-3 契約内容の書面による明示の有無(仕事別)

	n	はい	いいえ	計
全体	6329	54.9%	45. 1%	100%
クラウドワーカー全体	1068	52.0%	48. 0%	100%
事務関連	586	51.7%	48.3%	100%
デザイン・映像製作関連	64	59.4%	40. 6%	100%
IT関連	73	57. 5%	42. 5%	100%
専門業務関連	217	59.4%	40. 6%	100%
生活関連サービス、理容・美容	33	27. 3%	72. 7%	100%
現場作業関連	95	35. 8%	64. 2%	100%

注. 書面にはメールを含んでいる。

(2) 契約にかかわる事柄

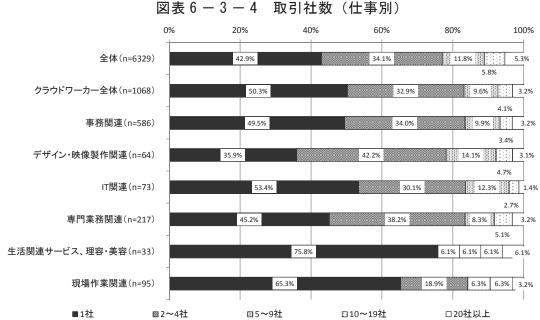
契約にかかわる事柄では、「クラウドワーカー」の取引社数 3 が何社であるか、どのように契約内容を決定しているのか(契約内容の決定パターン)、どのくらいの期間の契約を結んでいるのか(契約期間)について見ていく。なお、取引社数(図表 6-3-4)と契約内容の決定パターン(図表 6-3-5)のデータサンプルは 6329 になる。

³ 冒頭で説明した通り、本章でいう「クラウドワーカー」は、クラウドソーシングの会社(仲介組織)を通じて取引をしていた「独立自営業者」を指す。そのため、「クラウドワーカー」には、クラウドソーシングの会社(仲介組織)、取引先(発注元)の3者関係が存在する。本章で言う取引会社とは、クラウドソーシングの会社ではなく、発注元を指す。

①取引社数

図表6-3-4を見ると、全体では、1社」と「 $2\sim4$ 社」の割合が高い。この2つの 割合は、全体の8割近くを占める。「クラウドワーカー」全体を見ても、「1 社」と「2 ~4社」 の割合が高い。この2つの割合を足し合わせると、8割を超える。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「デザイン・映像製作関連」を除き、「1社」の 割合が最も高い。その割合は、「生活関連サービス、理容・美容」、「現場作業関連」におい て特に高い。その次に割合が高いのは、「2~4社」である。「1社」と「2~4社」の割合 を足し合わせると、どの仕事も8割程度になる。「クラウドワーカー」が取引をする企業の 数はそう多くない。「クラウドワーカー」は、不特定多数の企業と取引をするより、特定の 企業と取引をしていると考えられる。



②契約内容の決定パターン

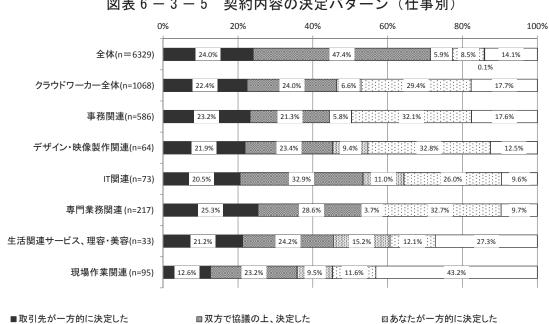
次に、主たる取引先との間で、契約内容がどのように決定されるのか、そのパターンを見 ておこう。全体を見ると(図表 6 - 3 - 5)、「取引先が一方的に決定した」は 24.0%であり、 「双方で協議の上、決定した(47.4%)」の割合が最も高い。また「あなたが一方的に決定し た(5.9%)|や「第三者 4 の定めるルールに沿って決定した(8.5%)|という決定方法もあり、 取引先が契約内容を一方的に決定するケースは多くない。

「クラウドワーカー」全体を見ると、「取引先が一方的に決定した」は22.4%であり、取 引先が一方的に決定するケースは多くない。クラウドワーカーの特徴は、「第三者の定める ルールに従って決定した(29.4%)」の割合が最も高いことにある。「クラウドワーカー」は、

⁴ ここでいう第三者とは、クラウドソーシングの会社や仲介会社等を指す。

クラウドソーシング会社などの仲介組織が定めるルールに従って、契約内容を決定するケー スが多い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「取引先が一方的に決定した」は2割台が多く、 取引先が一方的に契約内容を決定するとは限らない。次に、「第三者の定めるルールに沿っ て決定した」を見ると、その割合は、「IT 関連」、「生活関連サービス、理容・美容」、「現場 作業関連」を除く仕事において、最も高くなっている。これに対し、「IT関連」では、「双 方で協議の上、決定した」が、「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」では、 「上記のようなやり取りはなかった」の割合が最も高い。



図表 6-3-5 契約内容の決定パターン(仕事別)

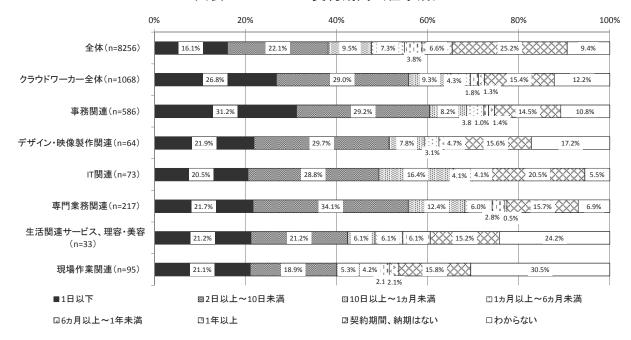
□第三者の定めるルールに沿って決定した □その他

□上記のようなやり取りはなかった

③契約期間

「独立自営業者」が締結する契約はどのくらいの期間のものが多いのだろうか。図表6-3-6を見ると、全体的に短期の契約期間が多い傾向にあることがわかる。1ヵ月未満(「1 日以下」、「2日以上~10日未満」、「10日以上~1ヵ月未満」の合計)で区切ると、全体は 47.7%、「クラウドワーカー」全体では65.1%になる。「独立自営業者」の中でも「クラウ ドワーカー」の契約期間は短い傾向にある。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ていくと、1ヵ月未満の割合は、「事務関連(68.6%)」、「IT 関連(65.7%)」、「デザイン・映像製作関連(59.4%)」、「専門業務関連(68.2%)」に おいて高く、「生活関連サービス、理容・美容(48.5%)」と「現場作業関連(45.3%)」に おいて低い。

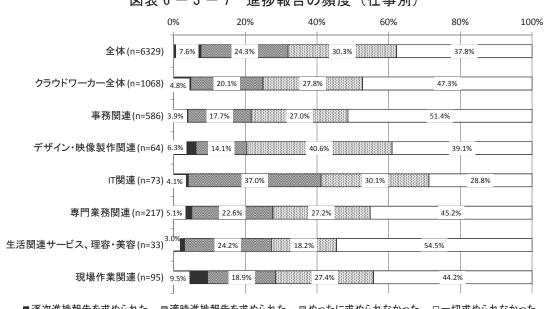


図表 6 - 3 - 6 契約期間(仕事別)

(3) 進捗報告の頻度/指示の頻度

①進捗報告の頻度

図表 6-3-7 の進捗報告の頻度と図表 $6-3-8\sim 6-3-10$ の指示の頻度のデータサンプルは、6329 である。図表 6-3-7 の進捗報告の頻度では、主たる取引先への進捗報告を求められた割合(「逐次進捗報告を求められた」と「適時進捗報告を求められた」の合計)と進捗報告を求められなかった割合(「めったに求められなかった」と「一切求められなかった」の合計)に分けて見ていく。



図表6-3-7 進捗報告の頻度(仕事別)

■逐次進捗報告を求められた ■適時進捗報告を求められた 図めったに求められなかった □一切求められなかった

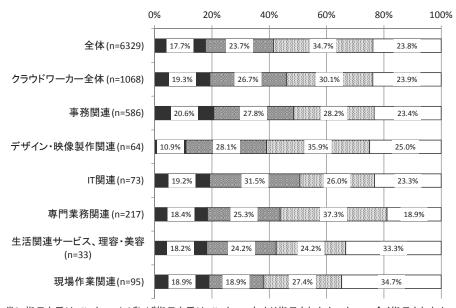
図表 6-3-7 によると、進捗報告を求められた割合は、全体で 31.9%、「クラウドワーカー」全体で 24.9%、進捗報告を求められなかった割合は、全体で 68.1%、「クラウドワーカー」全体で 75.1%になる。「独立自営業者」のなかでも、「クラウドワーカー」は主たる取引先から進捗報告を求められることはあまりないと言える。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、いずれの仕事においても、進捗報告を求められなかった割合が高い。ただし「IT 関連」では、他の仕事に比べて、主たる取引先から進捗報告を求められる傾向が見られる。

②指示の頻度

(a) 作業内容・範囲に対する指示の頻度

図表 6-3-8 の主たる取引先から作業内容・範囲に関する指示の頻度について見てみよう。指示を受けた割合(「常に指示を受けていた」と「しばしば指示を受けていた」の合計)と指示を受けなかった割合(「あまり指示されなかった」と「全く指示されなかった」の合計)に分けて見ると、指示を受けた割合は、全体で 41.4%、「クラウドワーカー」全体で 46.0%、指示を受けなかった割合は、全体で 58.5%、「クラウドワーカー」全体で 54.0%になる。 どちらも指示を受けなかった割合の方が高い。



図表6-3-8 作業内容・範囲に関する指示の頻度(仕事別)

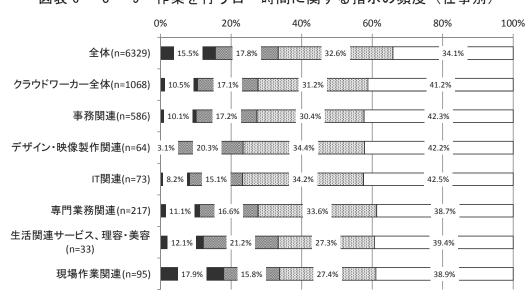
■常に指示を受けていた ■しばしば指示を受けていた □あまり指示されなかった □全く指示されなかった

(b) 作業を行う日・時間に関する指示の頻度

作業を行う日・時間について、主たる取引先から指示を受ける頻度を見る(図表 6-3-9)。図表 6-3-8 と同様、指示を受けた割合と指示を受けなかった割合の 2 つに分けて

見ていくと、指示を受けた割合は全体で33.3%、「クラウドワーカー」全体で27.6%、指示を受けなかった割合は全体で66.7%、「クラウドワーカー」全体で72.4%になる。どちらも指示を受けなかった割合が高い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、いずれの仕事も指示を受けた割合よりも、指示を受けなかった割合が高い。なかでも指示を受けなかった割合が高いのは、「デザイン・映像製作関連(76.6%)」と「IT 関連(76.7%)」であり、その割合が低いのは「生活関連サービス、理容・美容(66.7%)」「現場作業関連(66.3%)」ある。

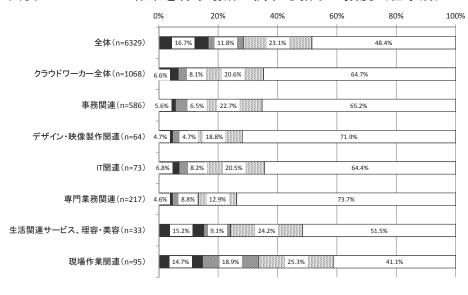


図表 6-3-9 作業を行う日・時間に関する指示の頻度(仕事別)

■常に指示を受けていた 図しばしば指示を受けていた 図あまり指示されなかった □全く指示されなかった

(c) 作業を行う場所に関する指示の頻度

作業を行う場所に関する指示の頻度を見る(図表 6-3-10)。ここでも主たる取引先から作業を行う場所に関する指示を受けたかどうかに分けて見ると、指示を受けた割合は、全体で 28.5%、「クラウドワーカー」全体で 14.7%、指示を受けなかった割合は、全体で 71.5%、「クラウドワーカー」全体で 85.3%になる。どちらも指示を受けなかった割合が高い。「クラウドワーカー」全体で 85.3%になる。どちらも指示を受けなかった割合が高い。 「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、指示を受けた割合より、指示を受けなかった割合が高い。指示を受けなかった割合が高いのは、「事務関連(87.9%)」、「デザイン・映像製作関連(90.7%)」、「IT 関連(84.9%)」、「専門業務関連(86.6%)」であり、その割合が低いのは、「生活関連サービス、理容・美容(75.7%)」「現場作業関連(66.4%)」である。



図表 6 - 3 - 10 作業を行う場所に関する指示の頻度(仕事別)

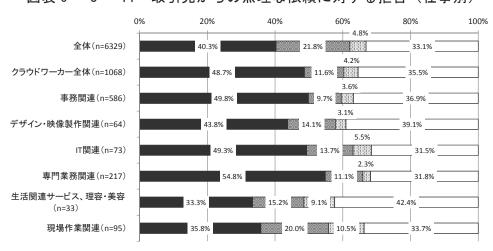
■常に指示を受けていた 図しばしば指示を受けていた 図あまり指示されなかった □全く指示されなかった

(4) 仕事の諾否/契約の打ち切り

①仕事の諾否

主たる取引先から無理な依頼をされたり、仕事を中断せざるを得なかったりすることがあった時に、「クラウドワーカー」はどのように対応するのか。図表 6-3-11 のデータサンプルは 6329 になる。

図表 6-3-11 によると、全体では、「常に問題なく断れた」と「そのような仕事を依頼されることはなかった」の割合が高い。この 2 つを足し合わせると、73.4%になる。全体の約 3/4 は無理な仕事に従事することはなかったと回答している。



図表6-3-11 取引先からの無理な依頼に対する拒否(仕事別)

■常に問題なく断れた ■時には断れなかった 国常に断れなかった □そのような仕事を依頼されることはなかった

「クラウドワーカー」全体を見ると、全体と同様、「常に問題なく断れた」と「そのような 仕事を依頼されることは無かった」の2つの割合が高い。この2つの割合を足しわせると8 割を超える。「クラウドワーカー」も、無理な仕事に従事する可能性は低い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、仕事によって、「常に問題なく断れた」の割合が最も高い仕事もあれば、「そのような仕事を依頼されることがなかった」の割合が最も高い仕事がある。ただし、この 2 つの割合を足し合わせた数値は、仕事によって割合は異なるものの、ほぼ 7 割以上になる。その割合は、特に「事務関連(86.7%)」、「デザイン・映像製作関連(82.9%)」、「IT 関連(80.8%)」、「専門業務関連(86.6%)」で高い。

②契約の打ち切り

次に、契約の打ち切りがあったかどうかを取り上げる。図表 6-3-12 によると、全体を見ても、「クラウドワーカー」全体を見ても、契約の打ち切りにあったのは、 $10\sim15\%$ 程度である。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「クラウドワーカー全体」に比べて、「IT関連(17.8%)」、「専門業務関連(19.4%)」の割合が高い。

	n	あった	なかった	計
全体	8256	10. 6%	89. 4%	100%
クラウドワーカー全体	1068	15. 1%	84. 9%	100%
事務関連	586	15. 7%	84. 3%	100%
デザイン・映像製作関連	64	4. 7%	95.3%	100%
IT関連	73	17. 8%	82. 2%	100%
専門業務関連	217	19.4%	80.6%	100%
生活関連サービス、理容・美容	33	0.0%	100.0%	100%
現場作業関連	95	11.6%	88. 4%	100%

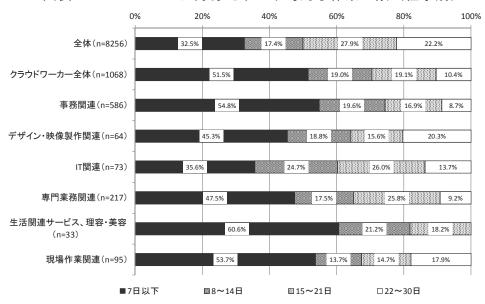
図表 6 - 3 - 12 契約の打ち切りの有無(仕事別)

(5) 作業日数・作業時間

① 1ヵ月あたりの平均的な作業日数

「独立自営業者」がどのくらい作業に従事しているかを見よう。1ヵ月あたりの平均的な作業日数では(図表6-3-13)、全体では、「7日以下」が3割強、これに「 $15\sim21$ 日」と「 $22\sim30$ 日」が続く。

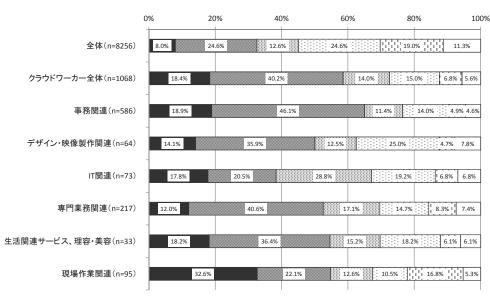
「クラウドワーカー」全体では、「7日以下」が5割を超える一方で、「8~14日」と「15~21日」の割合はほぼ同じである。1ヵ月あたりの平均的な作業日数については、「クラウドワーカー」は少ないという傾向が見られる。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、いずれの仕事においても、「7日以下」の割合が高い。ただし、その割合は仕事によって大きく異なる。「7日以下」の割合が高いのは、「事務関連」、「生活関連サービス、理容・美容」、「現場作業関連」であり、「IT関連」の割合は低い。



図表 6-3-13 1ヵ月あたりの平均的な作業日数(仕事別)

②1週間あたりの平均的な作業時間

次に、1週間あたりの平均的な作業時間を取り上げる。図表 6-3-14 によると、全体では、「1時間以上 10時間未満」、「20時間以上 40時間未満」、「40時間以上 60時間未満」の割合が高い。これに対し、「クラウドワーカー」全体では、「1時間以上 10時間未満」の割合が最も高く、これに「1時間未満」が続く。全体に比べると、「クラウドワーカー」の 1週間あたりの平均的な作業時間は短い傾向がある。



図表 6-3-14 1週間あたりの平均的な作業時間(仕事別)

■1時間未満 図1時間以上10時間未満 図10時間以上20時間未満 図20時間以上40時間未満 回40時間以上60時間未満 回60時間以上

「クラウドワーカー」を仕事別に見ていくと、仕事によって特徴が異なる。例えば、「1時

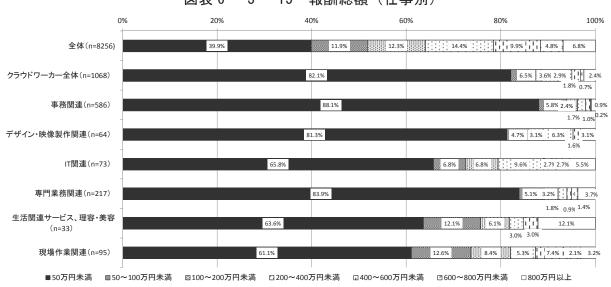
間以上 10 時間未満」では、「事務関連」と「専門業務関連」の割合が、他の仕事に比べて高く、作業時間が短い傾向にある。また、「現場作業関連」では、「1 時間未満」と「40 時間以上 60 時間未満」の割合が、他の仕事よりも高い。「現場作業関連」には、作業時間が短い人もいれば、長時間の人も含まれる。

3. 報酬にかかわる事柄

報酬にかかわる事柄では、報酬総額、経費の負担状況、経費の負担割合(報酬額比)、報酬の支払い時期を取り上げる。報酬のなかで経費を取り上げるのは、「独立自営業者」が受け取る報酬の中に経費が含まれている可能性があるからである。

(1)報酬総額

図表 6-3-15 は、報酬総額を示している。この報酬総額とは、2017 年 1 月から 12 月までの報酬総額を指す。全体を見ると、「50 万円未満」が約 4 割である。200 万円未満の割合(「50 万円未満」、「 $50\sim100$ 万円未満」、「 $100\sim200$ 万円未満」の合計)は 64.1%、400 万円以上の割合(「 $400\sim600$ 万円未満」、「 $600\sim800$ 万円未満」、「800 万円以上」の合計)は 21.5%である。これに対し、「20 7 ラウドワーカー」全体では、「20 7 万円未満」は 20 割を超える。200 万円未満の割合は 20 7 円以上の割合は 20 7 円以上の割合は 20 7 円 表満の割合は 20 7 円以上の割合は 20 7 円 表満の割合は 20 7 円以上の割合は 20 7 円 表満の割合は 20 7 円以上の割合は 20 7 円 月 の報酬はより低い。



図表 6 - 3 - 15 報酬総額(仕事別)

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、どの仕事においても、「50万円未満」の割合は60%を超えている。なかでもその割合が高いのは、「事務関連」、「デザイン・映像製作関連」、「専門業務関連」である。200万円未満の割合は、いずれの仕事もほぼ8割に達している。

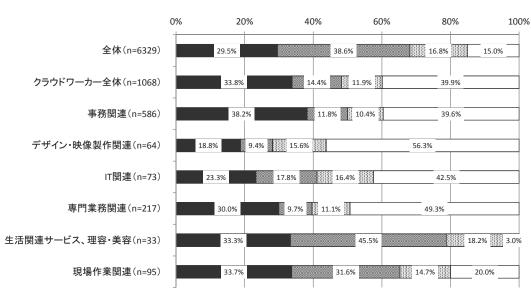
特にその割合は、「事務関連(96.3%)」と「デザイン・映像製作関連(89.1%)」において高い。400 万円以上の割合を見ると、「IT 関連(10.9%)」、「生活関連サービス、理容・美容(18.1%)」、「現場作業関連(12.7%)」において 1 割を超えるものの、それ以外の仕事では 5%程度になる。

(2) 経費の負担状況

経費の負担状況では(図表 6-3-16)、主たる取引先が経費の多くを支給しているのか、「独立自営業者」が経費の多くを負担しているのかを見る。このデータサンプルは 6329 である。

主たる取引先が経費の多くを支給する割合(「取引先がすべてを支給」と「取引先が多くを支給」の合計)と「独立自営業者」が経費の多くを負担する割合(「あなたが多くを負担」と「あなたがすべてを負担」の合計)に分けて見ると、全体では、主たる取引先が経費の多くを支給する割合(68.1%)が高い。これに対し、「クラウドワーカー」全体では、僅かではあるが、「クラウドワーカー」が経費の多くを負担する割合(51.8%)が高い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、主たる取引先が経費の多くを支給する割合は、「生活関連サービス、理容・美容(78.8%)」、「現場作業関連(65.3%)」において高く、「クラウドワーカー」が経費の多くを負担する割合は、「デザイン・映像製作関連(71.9%)」、「IT関連(58.9%)」、「専門業務関連(60.4%)」で高い。なお、「事務関連」については、どちらも 50%となる。



図表6-3-16 経費の負担状況(仕事別)

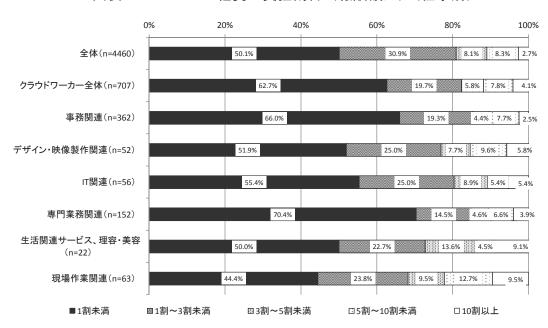
■取引先がすべてを支給 ■取引先が多くを支給 図あなたが多くを負担 □あなたがすべてを負担

(3) 経費の負担割合(報酬額比)

次に、「クラウドワーカー」が負担する経費が、報酬全体のどれくらいになるのかを見る。 このデータのサンプルは、先の図表 6-3-16 において、「取引先がすべてを支給」を回答した 1869 を除く 4460 になる。

図表 6-3-17 を見ると、全体において、最も割合が高いのは、「1割未満」であり、その次は、「1割から3割未満」である。この2つを足し合わせると、8割を超える。「クラウドワーカー」全体を見ると、「1割未満」の割合が最も高く、「1割~3割未満」がこれに続く。この2つの割合を足し合わせると82.4%になる。「クラウドワーカー」が負担する経費は、報酬の3割未満のケースが多い。また、その割合は全体よりも高い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、どの仕事も「1割未満」と「1割~3割未満」の合計は6割を超える。この割合が特に高いのは、「事務関連(85.3%)」、「専門業務関連(84.9%)」であり、割合が低いのは、「生活関連サービス、理容・美容(72.7%)」と「現場作業関連(68.2%)」である。



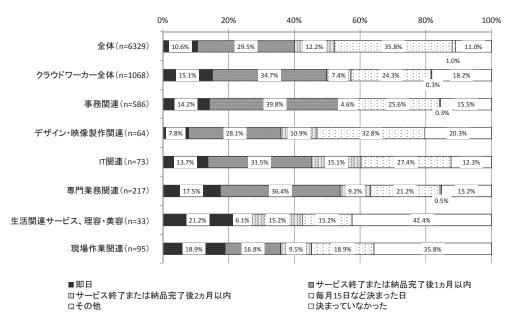
図表 6-3-17 経費の負担割合 (報酬額比) (仕事別)

(4) 報酬の支払い時期

主たる取引先からの報酬は、どのタイミングで支払われているのだろうか。報酬の支払い時期のデータサンプルは、6329 になる。図表 6-3-18 を見ると、全体と「クラウドワーカー」全体では、「サービス終了または納品完了後 1 ヵ月以内」と「毎月 15 日など決まった日」の割合が高い。他方で、どちらも「決まっていなかった」の割合は 2 割未満である。取引先からの報酬は、決まった時期に支払われるケースが多い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「事務関連」、「デザイン・映像製作関連」、「IT

関連」、「専門業務関連」において、「サービス終了後または納品完了後1ヵ月以内」と「毎月15日など決まった日」の割合が高い。他方で、「現場作業関連」と「生活関連サービス、理容・美容」では、「決まっていなかった」の割合が高い。「クラウドワーカー」の仕事によっては、報酬が支払われる時期が定まっていないこともある。



図表6-3-18 報酬の支払い時期(仕事別)

第4節 「クラウドワーカー」のキャリア観とスキル形成

第4節では、「クラウドワーカー」のキャリア観とスキル形成を取り上げる。具体的には、「クラウドワーカー」が自身のキャリアについてどのように考えているのか、「独立自営業者」としての仕事をこなすのに必要なスキルや能力をどのように身につけたのかを見ていく。

1. キャリア観

(1)「独立自営業者」になった理由

「独立自営業者」になった理由(図表 6-4-1)から見よう。全体を見ると、上位 3 つは、「自分の夢の実現やキャリアアップのため」、「収入を増やしたかったから」、「自分のペースで働く時間を決めることができると考えたから」になる。

上記について、「クラウドワーカー」全体を見ると、全体に比べて、「収入を増やしたかったから」の割合が高く、「自分の夢の実現やキャリアアップのため」と「自分のペースで働く時間を決めることができると思ったから」の割合が低い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ていくと、「自分の夢の実現やキャリアアップのため」では、「デザイン・映像製作関連」が高く、「収入を増やしたかったから」では、「事務関連」、「IT関連」、「専門業務関連」の割合が高い。同様に、「自分のペースで働く時間を決めること

ができると思ったから」を見ると、「IT関連」、「生活関連サービス、理容・美容」の割合が高い。

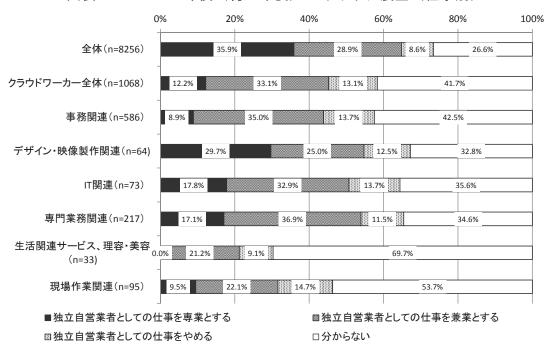
							<u> </u>		
	事務関連	デザイン・ 映像製作関連	IT関連	専門業務関連	生活関連サー ビス、理容・ 美容	現場作業関連	クラウドワー カー全体	全体	
n	586	64	73	217	33	95	1068	8256	
自分の夢の実現やキャリア アップのため	12. 3%	28. 1%	19. 2%	16. 6%	15. 2%	13. 7%	14. 8%	21. 7%	
収入を増やしたかったから	51. 2%	43. 8%	52. 1%	55. 8%	24. 2%	25. 3%	48. 6%	31. 8%	
自分のペースで働く時間を決めることができると思ったから	30. 5%	32.8%	39. 7%	38. 2%	12. 1%	21. 1%	31. 5%	35. 9%	
働く地域や場所を選べたから	11.6%	10. 9%	16.4%	16. 1%	3. 0%	11. 6%	12. 5%	12. 2%	
働きたい仕事内容を選べたか ら	10. 4%	17. 2%	13. 7%	18. 9%	6. 1%	10. 5%	12. 6%	18. 0%	
仕事の範囲や責任が明確だっ たから	3. 2%	4. 7%	2. 7%	4. 1%	3. 0%	2. 1%	3.4%	7. 6%	
専門的な技術や資格を活かせ ると思ったから	1. 7%	9.4%	9. 6%	6. 9%	6. 1%	3. 2%	4. 0%	18. 1%	
実務経験(事務、財務、貿易 事務など)やキャリアを積み たかったから	2.0%	1. 6%	1.4%	2. 3%	0.0%	3. 2%	2. 1%	3. 1%	
育児、看護、介護との両立が 図れると思ったから	11.1%	12. 5%	6.8%	10. 6%	12. 1%	2. 1%	10. 0%	6. 9%	
社会活動、趣味との両立が 図れると思ったから	2. 0%	6. 3%	0.0%	7. 4%	0.0%	3. 2%	3. 3%	5. 7%	
一つの会社に縛られなかったから	2. 9%	3. 1%	2. 7%	7. 4%	9. 1%	3. 2%	4. 0%	8. 8%	
様々な仕事を体験できると 思ったから	3. 1%	4. 7%	2. 7%	6.0%	9. 1%	2. 1%	3.8%	5. 5%	
取引相手や以前の勤め先、 知り合いに頼まれたから	0. 3%	0.0%	0.0%	0.0%	6. 1%	3. 2%	0.7%	5. 6%	
精神的・肉体的な病気をかか えていたから	3. 6%	6. 3%	6.8%	6.0%	9. 1%	3. 2%	4. 6%	3. 7%	
正社員として働きたいが、 仕事が見つからなかったから	2. 7%	4. 7%	1.4%	1.4%	6. 1%	3. 2%	2. 6%	3. 4%	
その時働いていた会社の 倒産・リストラ	1.0%	1.6%	4. 1%	2. 3%	12. 1%	3. 2%	2. 1%	3. 8%	
定年退職	0. 7%	0.0%	1. 4%	1.8%	0.0%	9. 5%	1. 7%	4. 7%	
その他	0.9%	0.0%	2. 7%	0. 9%	0.0%	0. 0%	0. 8%	2.5%	
特段理由はない	19. 6%	20. 3%	11.0%	10. 6%	24. 2%	28. 4%	18. 2%	16. 4%	

図表 6 - 4 - 1 「独立自営業者」になった理由(MA)(仕事別)(列%)

(2) 今後(約3年後)のキャリア展望

図表 6 - 4 - 2には、「クラウドワーカー」が今後(約3年後)のキャリアをどう考えているかを示している。同図表によると、全体では、「独立自営業者としての仕事を専業とする」の割合が最も高く、「独立自営業者の仕事を兼業とする」と「分からない」が続く。「独立自営業者としての仕事をやめる」は8.6%である。独立自営業者を辞めようと考えている人は少ない。「クラウドワーカー」全体を見ると、「分からない」の割合が最も高く、これに「独立自営業者としての仕事を兼業とする」が続く。「クラウドワーカー」が考える今後の展望は未定であるか、「独立自営業者」としての仕事を続けるにしても、兼業を考えているという点に

おいて、全体とは大きく異なる。



図表 6 - 4 - 2 今後(約3年後)のキャリア展望(仕事別)

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると(図表 6-4-2)、「分からない」では、「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」の割合が特に高い。「独立自営業者としての仕事を専業とする」では、「デザイン・映像製作関連」、「IT 関連」、「専門業務関連」の割合が高く、「事務関連」、「生活関連サービス、理容・美容」、「現場作業関連」において割合が低い。「独立自営業者としての仕事を兼業とする」では、「事務関連」、「専門業務関連」の割合が高い。「独立自営業者としての仕事をやめる」について見ると、いずれも 15%未満であり、仕事による違いは見られない。「クラウドワーカー」を仕事別に見ても、「独立自営業者」をやめるという人はそれほど多くはない。

2. スキル形成

(1) スキルを身につけた場所

図表 6-4-3 には、スキルを身につけた場所を示している。全体を見ると、「特にない」を除けば、「関連書籍等を使って自学自習」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修および勉強会」、「同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換」、「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合が高い。

「クラウドワーカー」全体を見ると、「特にない」を除けば、割合が高いのは、「関連書籍等を使って自学自習」、「通信教育やインターネット上の講習(eラーニング)」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」になる。全体と比較をすると、「クラウドワ

ーカー」は「同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換」や「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合が低く、「特にない」の割合が高い。

上記の項目について、「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、仕事の内容によって、スキルを身につける場所が異なることがわかる。「関連書籍等を使って自学自習」では、特に目立った傾向は見られない。「通信教育やインターネット上の講習(e ラーニング)」では、「デザイン・映像製作関連」と「現場作業関連」の割合が低く、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」では、「生活関連サービス、理容・美容」の割合が低い。

	事務関連	デザイン・映 像製作関連	IT関連	専門業務関連	生活関連サー ビス、理容・美 容	現場作業関連	クラウドワー カー全体	全体
n	586	64	73	217	33	95	1068	8256
関連書籍等を使って自学自習	17.6%	29.7%	26.0%	20.7%	24.2%	17.9%	19.8%	28.2%
通信教育やインターネット上の講習 (eラーニング)	10.6%	7.8%	9.6%	10.6%	12.1%	7.4%	10.1%	8.7%
会社(以前の会社を含め)での経 験、研修及び勉強会	17.9%	31.3%	37.0%	24.0%	9.1%	12.6%	20.5%	34.3%
同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換	2.9%	1.6%	8.2%	2.8%	18.2%	12.6%	4.5%	13.9%
取引相手が実施している勉強会、 講習会、セミナーへの参加	1.4%	0.0%	1.4%	4.6%	6.1%	3.2%	2.2%	4.6%
仲介組織が主催する勉強会や 講習会、 セミナーへの参加	4.6%	1.6%	4.1%	5.1%	6.1%	5.3%	4.6%	1.9%
高校、専門学校、大学などの教育機 関	4.8%	14.1%	8.2%	9.7%	6.1%	1.1%	6.3%	14.9%
公共の職業訓練校	1.9%	4.7%	1.4%	0.5%	3.0%	1.1%	1.7%	1.8%
業界団体・職業団体(協会等)の研修	0.9%	1.6%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	1.2%	6.9%
特にない	53.6%	39.1%	34.2%	46.5%	45.5%	56.8%	50.0%	29.3%
その他	0.5%	3.1%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%	1.9%

図表 6-4-3スキルを身につけた場所 (MA) (仕事別) (列%)

(2) 最も役立ったスキルを身につけた場所

最も役立ったスキルを身につけた場所を見ていこう。図表 6-4-4 の全体のデータサンプルは、先の図表 6-4-3 で「特にない」と回答した 2421 を除く 5835 である。同様に、「クラウドワーカー」全体についても、図表 6-4-3 で「特にない」と回答した 534 を除くと、データサンプルは 534 になる。

全体を見ると、「関連書籍等を使って自学自習」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」、「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合が高い。「クラウドワーカー」全体を見ると、割合が高いのは、「関連書籍等を使って自学自習」、「通信教育やインターネット上の講習(eラーニング)」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」である。全体と比較をすると、「クラウドワーカー」は「通信教育やインターネット上の講習(eラーニング)」の割合が高く、「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合

が低い。

「クラウドワーカー」全体において割合が高い項目について、仕事別に見ると、「関連書籍等を使って自学自習」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」では、目立った特徴はみられないが、「通信教育やインターネット上の講習(eラーニング)」では、「デザイン・映像製作関連」の割合が、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」では、「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」の割合が特に低い。

	事務関連	デザイン・ 映像製作関連	IT関連	専門業務関連	生活関連サー ビス、理容・ 美容	- 現場作業関連	クラウドワー カー全体	全体
n	272	39	48	116	18	41	534	5835
関連書籍等を使って自学自習	28.3%	35.9%	27.1%	28.4%	33.3%	36.6%	29.6%	24.2%
通信教育やインターネット上の講習 (eラーニング)	17.6%	2.6%	6.3%	10.3%	11.1%	9.8%	13.1%	5.5%
会社(以前の会社を含め)での経験、 研修及び勉強会	30.9%	41.0%	45.8%	33.6%	16.7%	17.1%	32.0%	38.5%
同業者(仲間や友人を含む)との 勉強会、セミナーなどでの情報交換	2.6%	0.0%	8.3%	1.7%	16.7%	17.1%	4.3%	7.8%
取引相手が実施している勉強会、 講習会、セミナーへの参加	2.2%	0.0%	0.0%	5.2%	5.6%	4.9%	2.8%	2.6%
仲介組織が主催する勉強会や講習 会、 セミナーへの参加	7.4%	2.6%	0.0%	6.0%	5.6%	9.8%	6.2%	1.4%
高校、専門学校、大学などの教育機 関	6.3%	7.7%	10.4%	10.3%	11.1%	2.4%	7.5%	11.7%
公共の職業訓練校	2.2%	5.1%	2.1%	0.9%	0.0%	2.4%	2.1%	1.3%
業界団体・職業団体(協会等)の研修	1.5%	2.6%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.3%	4.5%
その他	1.1%	2.6%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.1%	2.3%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

図表6-4-4 最も役立ったスキルを身につけた場所(仕事別)

(3) 役立った資格の有無

スキル形成には、資格の取得が含まれる。役立った資格を持つ「独立自営業者」はどのくらいいるのだろうか。

図表 6-4-5 によると、全体と「クラウドワーカー」全体では、「資格あり」は 3 割前後、「資格なし」は 7 割前後になる。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、「資格あり」では、「専門関連業務」、「生活関連サービス、理容・美容」の割合が高く、「デザイン・映像製作関連」の割合が低い。

	n	資格あり	資格なし	計			
全体	8256	35. 4%	64. 6%	100%			
クラウドワーカー全体	1068	29. 4%	70. 6%	100%			
事務関連	586	28. 2%	71. 8%	100%			
デザイン・映像製作関連	64	23. 4%	76. 6%	100%			
IT関連	73	28. 8%	71. 2%	100%			
専門業務関連	217	33. 2%	66.8%	100%			
生活関連サービス、理容・美容	33	36. 4%	63.6%	100%			
現場作業関連	95	30. 5%	69.5%	100%			

図表 6 - 4 - 5 役立った資格の有無(仕事別)

(4) 今後必要だと思うスキルアップ

今後必要だと思うスキルアップについて見てみよう。図表 6-4-6 によると、全体は、「関連書籍等を使って自学自習」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」、「同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換」、「特にない」の割合が高い。

	事務関連	デザイン・ 映像製作関連	IT関連	専門業務関連	生活関連サー ビス、理容・ 美容	現場作業関連	クラウドワー カー全体	全体
n	586	64	73	217	33	95	1068	8256
関連書籍等を使って自学自習	18. 9%	25. 0%	27. 4%	24. 4%	21. 2%	21. 1%	21.3%	21. 3%
通信教育やインターネット上の講習 (eラーニング)	13. 1%	9. 4%	9. 6%	12. 4%	9. 1%	6. 3%	11.8%	6. 3%
会社(以前の会社を含め)での経験、 研修及び勉強会	6. 0%	10. 9%	6. 8%	9. 2%	3.0%	5. 3%	6. 8%	10. 9%
同業者(仲間や友人を含む)との 勉強会、セミナーなどでの情報交換	4. 9%	1. 6%	8. 2%	4. 1%	6. 1%	6. 3%	5. 0%	11. 8%
取引相手が実施している勉強会、 講習会、セミナーへの参加	2. 7%	1. 6%	5. 5%	2. 3%	6. 1%	5. 3%	3.1%	2. 9%
仲介組織が主催する勉強会や講習会、 セミナーへの参加	11. 3%	9. 4%	12. 3%	9. 2%	3. 0%	1.1%	9. 6%	2. 6%
高校、専門学校、大学などの教育機関	0. 5%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0. 7%	1.4%
公共の職業訓練校	0. 5%	0.0%	0.0%	1.4%	3. 0%	0.0%	0. 7%	0.6%
業界団体・職業団体(協会等)の研修	0. 2%	9. 4%	2. 7%	0.0%	0. 0%	2. 1%	1.0%	6. 5%
特にない	41.5%	29. 7%	26. 0%	34. 6%	48. 5%	52. 6%	39. 5%	34. 0%
その他	0. 3%	3. 1%	0.0%	0.9%	0.0%	0. 0%	0.6%	1. 5%
計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

図表 6-4-6 今後必要だと思うスキルアップ(仕事別)

「クラウドワーカー」全体を見ると、「関連書籍等を使って自学自習」と「特になし」は割合が高いものの、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」、「同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換」の割合は高くない。「クラウドワ

ーカー」全体の特徴の1つは、「通信教育やインターネット上の講習 (e ラーニング)」の割合が高いことである。

「クラウドワーカー」全体で割合が高い項目について、仕事別に見ていくと、「関連書籍等を使って自学自習」では、「デザイン・映像製作関連」、「IT 関連」、「専門業務関連」の割合が高く、「通信教育やインターネット上の講習 (e ラーニング)」では、「事務関連」、「専門業務関連」の割合が高い。「特にない」では、「事務関連」、「生活関連サービス、理容・美容」、「現場作業関連」の割合が高い。

第5節 トラブル対応と望ましい保護政策

第5節では、トラブル対応については、どのようなトラブルを経験し、そのトラブルに対してどのように対応したのか、またトラブル回避のためにどのような対策を講じているかを取り上げる。望ましい保護施策では、「クラウドワーカー」がより働きやすくなるために、どのような施策を求めているのかを取り上げる。

1. トラブル経験

(1) 経験したトラブルの特徴

①トラブル経験の有無

トラブル経験の有無について見ると(図表6-5-1)、全体を見ても、「クラウドワーカー」全体を見ても、トラブルを経験した割合はほぼ5割である。

	n	トラブル経験あり	トラブル経験なし	計
全体	8256	49.9%	50.1%	100%
クラウドワーカー全体	1068	50.8%	49.2%	100%
事務関連	586	48.8%	51.2%	100%
デザイン・映像製作関連	64	46.9%	53.1%	100%
IT関連	73	53.4%	46.6%	100%
専門業務関連	217	47.5%	52.5%	100%
生活関連サービス、理容・美容	33	60.6%	39.4%	100%
現場作業関連	95	68.4%	31.6%	100%

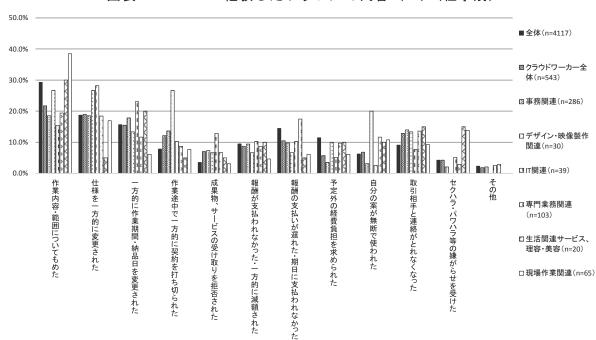
図表6-5-1 トラブル経験の有無(仕事別)

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると(図表 6-5-1)、「トラブル経験あり」の割合が高いのは、「現場作業関連」、「生活関連サービス、理容・美容」、「IT 関連」であり、「トラブル経験なし」の割合が高いのは、「事務関連」、「デザイン・映像製作関連」、「専門業務関連」である。

②トラブルの内容

「独立自営業者」が経験したトラブルにはどんなものがあるだろうか。このデータサンプルは、図表6-5-1で「トラブル経験あり」を回答した人になる。全体のサンプルは4117であり、「クラウドワーカー」全体は543になる。

図表 6-5-2 によると、全体では、「作業内容・範囲についてもめた(29.2%)」、「仕様を一方的に変更された(18.7%)」、「一方的に作業期間・納品日を変更された(15.7%)」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった(14.5%)」、「予定外の経費負担を求められた(11.5%)」などの割合が高い。



図表 6-5-2 経験したトラブルの内容 (MA) (仕事別)

注)全体のデータについては、無回答(1サンプル)を含めて集計しているが、図表には表示していない。なお、「クラウドワーカー」には無回答はない。

上記の項目の割合は、「クラウドワーカー」全体でも概ね高い。全体との違いを言えば、「予定外の経費負担を求められた(5.7%)」の割合が低い一方で、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた(12.2%)」と「取引相手と連絡がとれなくなった(12.9%)」の割合が全体よりも高い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、仕事によってトラブルの内容は異なることがわかる。例えば、「作業内容・範囲についてもめた」では、「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」の割合が高く、「仕様を一方的に変更された」では、「デザイン・映像製作関連」と「IT 関連」の割合が高い。「一方的に作業期間・納品日を変更された」では、「IT 関連」と「生活関連サービス、理容・美容」の割合が高い。上記以外を列記すれば、「作業

途中で一方的に契約を打ち切られた」では、「デザイン・映像製作関連」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」では、「専門業務関連」、「自分の案が無断で使われた」では、「デザイン・映像製作関連」の割合が高い。

(2) トラブルの解決状況

「独立自営業者」があったトラブルの解決状況を見てみよう。図表 6-5-3のトラブルの解決状況には、「全て解決した」、「未解決のものもある」、「全く解決していない」の 3 つの選択肢がある。トラブルの解決状況については、全体と「クラウドワーカー」全体に限定する。「クラウドワーカー」のサンプルサイズは 1068 であり、経験したトラブルついて仕事別に見ていくと、サンプルサイズがより小さくなり、分析に堪えられないと考えられるからである。

図表 6 - 5 - 3によると、全体と「クラウドワーカー」全体において、「全て解決した」の割合が「未解決のものもある」と「全く解決していない」より高いのは、「作業内容・範囲についてもめた」、「仕様を一方的に変更された」、「一方的に作業期間・納品日を変更された」、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた」、「成果物、サービスの受け取りを拒否された」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」、「予定外の経費負担を求められた」、「取引相手と連絡がとれなくなった」、「その他」の9項目に及ぶ。これらのトラブルは、比較的解決しやすいと考えられる。この内、全体と「クラウドワーカー」全体を比較すると、5ポイント以上の差が見られるのは、「作業内容・範囲についてもめた」、「一方的に作業期間・納品日を変更された」、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」、「予定外の経費負担を求められた」の5項目である。この5項目のうち、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」を除く、4項目において、「クラウドワーカー」全体は全体よりも「全て解決した」の割合が低い。これらのトラブルについては、「クラウドワーカー」はより解決しづらいことがわかる。

上記以外の項目について見ると、「報酬が支払われなかった・一方的に減額された」では、全体は「未解決のものがある」の割合が最も高いが、「クラウドワーカー」全体では、「全く解決してない」の割合が最も高い。「自分の案が無断で使われた」では、全体は「全て解決した」の割合が最も高いが、「クラウドワーカー」全体では、「全く解決していない」の割合が最も高い。この2つについても、「クラウドワーカー」はより解決しづらいと思われる。また、「セクハラ・パワハラ等の嫌がらせを受けた」では、全体と「クラウドワーカー」全体では、どちらも「全く解決してない」の割合が高い。セクハラやパワハラ等の嫌がらせは、特に解決しづらいトラブルと言える。

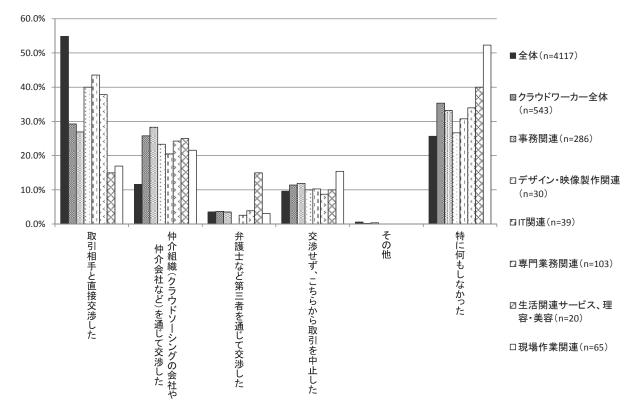
トラブルの内容		n	全て解決した	未解決のものもある	全く解決していない	計	
作業内容・範囲についてもめた	全体	1204	60. 5%	31. 1%	8. 4%	100%	
TF未内合・軋曲に Jいくもめた	クラウドワーカー全体	118	51.7%	38.1%	10.2%	100%	
L. 世生 ・ ナ かし - 亦 声 ナ か ナ 。	全体	771	58. 2%	30. 9%	10. 9%	100%	
仕様を一方的に変更された	クラウドワーカー全体	103	54.4%	31.1%	14.6%	100%	
	全体	645	65. 0%	27. 1%	7. 9%	100%	
一方的に作業期間・納品日を変更された	クラウドワーカー全体	84	52.4%	39.3%	8.3%	100%	
(b-#) \(\rightarrow \) = \(\frac{1}{2} \rightarrow \) \(1	全体	323	53. 6%	26. 6%	19. 8%	100%	
作業途中で一方的に契約を打ち切られた	クラウドワーカー全体	66	45.5%	27.3%	27.3%	100%	
**************************************	全体	145	44. 8%	35. 2%	20.0%	100%	
成果物、サービスの受け取りを拒否された	クラウドワーカー全体	38	47.4%	28.9%	23.7%	100%	
+P3TH1/>	全体	390	34. 9%	36. 2%	29. 0%	100%	
服酬が支払われなかった·一方的に減額された ■ である。	クラウドワーカー全体	47	21.3%	34.0%	44.7%	100%	
4PT11 0	全体	595	70. 4%	24. 2%	5. 4%	:	
報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった	クラウドワーカー全体	57	78.9%	17.5%	3.5%	100%	
7 - U - 0.07 # 4 - U - 1- U - U - U - U - U - U - U - U	全体	472	60.0%	27. 8%	12.3%	100%	
予定外の経費負担を求められた	クラウドワーカー全体	31	54.8%	35.5%	9.7%	100%	
± // > =	全体	257	38. 5%	33. 9%	27. 6%	:	
自分の案が無断で使われた	クラウドワーカー全体	37	32.4%	24.3%	43.2%	100%	
	全体	374	45. 5%	26. 2%	28. 3%	:	
取引相手と連絡がとれなくなった	クラウドワーカー全体	70	44.3%	20.0%	35.7%	100%	
	全体	174	24. 1%	32. 2%	43. 7%		
セクハラ・パワハラ等の嫌がらせを受けた	クラウドワーカー全体	23	21.7%	21.7%	56.5%	100%	
	全体	95	52. 6%	24. 2%	23. 2%		
その他	クラウドワーカー全体	10	50.0%	20.0%	30.0%	100%	

図表 6 - 5 - 3 トラブルの解決状況

(3)トラブルの対処方法

独立自営業者のトラブルの対処方法はどうなっているのか。このデータサンプルは、図表6-5-1で、「トラブル経験あり」を回答した人になる。全体のサンプルは 4117 であり、「クラウドワーカー」全体は 543 になる。

図表 6-5-4によると、全体では「取引相手と直接交渉した」が 5割を超えていること、また「特に何もしなかった」の割合は 3割弱である。これに対し、「クラウドワーカー」全体では、「取引相手と直接交渉した」は 3割未満である一方で、「特に何もしなかった」は 35% 程度である。また、「仲介組織(クラウドソーシングの会社や仲介会社など)を通じて交渉した」の割合は全体よりも高い。このように全体と比較すると、「クラウドワーカー」全体の特徴は、トラブルに対して、取引先と直接交渉をするか、何もしないか、仲介組織を 通じて交渉をするかの 3 つで対応する点にあると考えられる。



図表 6-5-4 トラブルの対処方法 (MA) (仕事別)

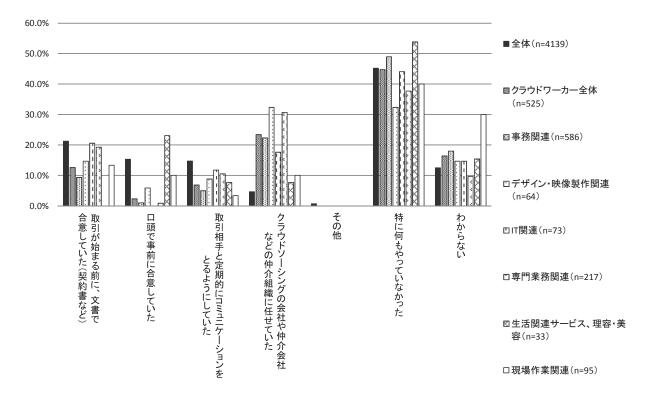
注)全体のデータについては、無回答(1 サンプル)を含めて集計しているが、図表には表示していない。なお、「クラウドワーカー」には無回答はない。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると(図表 6-5-4)、仕事による違いが見られる。「取引相手と直接交渉した」では、「デザイン・映像製作関連(40.0%)」、「IT 関連(43.6%)」、「専門業務関連(37.9%)」の割合が高い。「仲介組織(クラウドソーシングの会社や仲介会社など)を通じて交渉した」では、「事務関連(28.3%)」の割合が高い。「弁護士など第三者を通じて交渉した」では、「生活関連サービス、理容・美容(15.0%)」の割合が、「交渉せず、こちらから取引を中止した」では、「現場作業関連(15.4%)」の割合が高い。「特に何もしなかった」では、「生活関連サービス、理容・美容(40.0%)」と「現場作業関連(52.3%)」の割合が高い。

(4)トラブル回避の方法

これまで「独立自営業者」が経験したトラブルについて見てきた。最後に、トラブル回避の方法について見る。図表 6-5-5 のデータサンプルは、図表 6-5-1 において、「トラブル経験なし」を選択した全体の 4139 と「クラウドワーカー」全体の 525 になる。

全体を見ると(図表 6-5-5)、「特に何もやっていなかった(45.2%)」が最も高い。これ以外では、「取引が始まる前に、文書で合意していた(契約書など)(21.3%)」、「口頭で事前に合意していた(15.3%)」、「取引相手と定期的にコミュニケーションをとるようにしていた(14.7%)」が続く。



図表 6-5-5 トラブル回避の方法 (MA) (仕事別)

「クラウドワーカー」全体を見ると(図表 6-5-5)、全体に比べて、「特に何もやっていなかった(44.8%)」の割合が低く、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織に任せていた(23.4%)」の割合が高いことがわかる。クラウドソーソーシングの会社等の仲介組織は、「クラウドワーカー」のトラブル回避に貢献していることが窺える。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、どの仕事でも、「特に何もやっていなかった」の割合が最も高い。その割合は $3\sim5$ 割台である。それ以外を見ると、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織に任せていた」では、「デザイン・映像製作関連(32.4%)」と「専門業務関連(30.7%)」の割合が、「取引が始まる前に、文書で合意していた(契約書など)」では、「IT 関連(20.6%)」と「専門業務関連(19.3%)」の割合が、「口頭で事前に合意していた」では、「生活関連サービス、理容・美容(23.1%)」と「現場作業関連(10.0%)」の割合がそれぞれ高い。

2. 整備・充実を求める保護政策

(1)独立自営業を続ける上での問題点

ここからは、「独立自営業者」が整備・充実を求める保護政策を取り上げる。まず、「独立 自営業者」を続ける上での問題を見ていく。

全体を見ると(図表 6-5-6)、「仕事を失った時の失業保険のようなものがない」、「仕事が原因で怪我や病気をした時の労災保険のようなものがない」、「キャリア形成が難しい」、

「立場が弱い」、「仕事が見つかりにくい」、「収入が不安定、低い」、「医療保険や年金などの 社会保障が不十分である」という問題が指摘されている。また「特に課題はない」は2割強 である。

「クラウドワーカー」全体を見ると、全体と同様の問題が指摘されている。ただし、それぞれの割合を見ると、全体との違いが見られる。5ポイント以上の差が見られるのは、「仕事を失った時の失業保険のようなものがない」、「仕事が原因で怪我や病気をした時の労災保険のようなものがない」、「キャリア形成が難しい」、「医療保険や年金などの社会保障が不十分である」の4項目である。ただし、全体に比べて、「クラウドワーカー」全体の割合が高いのは、「キャリア形成が難しい」のみである。「独立自営業者」全体に比べると、「クラウドワーカー」は問題を抱えていないと言えるかもしれない。

「クラウドワーカー」の仕事別に見える傾向を指摘すると、「生活関連サービス、理容・美容」において、「仕事が原因で怪我や病気をした時の労災保険のようなものがない」の割合が低いこと、「耳関連」において、「キャリア形成が難しい」の割合が低いこと、「専門業務関連」において、「収入が不安定、低い」の割合が特に高いこと、「現場作業関連」において、「仕事が見つかりにくい」と「医療保険や年金などの社会保障が不十分である」の割合が低く、「特に課題はない」の割合が高いことである。

ー 生活関連サービ で 羊突 現場作業関連 デザイン・映像 クラウドワー 事務関連 IT関連 専門業務関連 全体 製作関連 ス、理容・美容 586 73 217 95 1068 8256 64 33 仕事を失った時の失業保険のような ものがない 32.1% 39.1% 35.6% 39.2% 33.3% 18.9% 33.1% 40.3% 什事が原因で怪我や病気をした時の 27.7% 16.9% 25.0% 23.3% 22.6% 9.1% 15.8% 18.6% 労災保険のようなものがない 本業先で副業が禁止されている 9.4% 7.8% 6.8% 6.5% 5.4% キャリア形成が難しい 15.6% 6.8% 10.4% 17.1% 20.7% 12.1% 14.7% 16.7% 能力を開発する機会が乏しい 7.0% 8.9% 6.3% 5.5% 12.0% 6.1% 4.2% 8.6% トラブルが多い 7.7% 12.5% 6.8% 6.9% 12.1% 3.2% 7.5% 5.3% 立場が弱い 18.6% 17.2% 26.0% 24.4% 12.1% 13 7% 19.6% 18.9% 仕事が見つかりにくい 22.4% 26.6% 15.1% 24.0% 21.2% 8.4% 16.3% 21.2% 働く時間が長い、忙しい 6.1% 14.1% 0.0% 7.4% 15.2% 2.1% 6.4% 7.8% 収入が不安定、低い 49.3% 46.9% 42.5% 60.4% 27.3% 18.9% 47.6% 45.5% 事業を行う資金の確保が難しい 3.1% 7.8% 1.4% 3.7% 9.1% 3 2% 3 6% 6.8% 頼りになる同業者や仲間がいない 5.6% 10.9% 2.7% 10.1% 3.0% 8.4% 6.8% 7.6% 仕事や事業について相談できるとこ 15.6% 4.1% 9.1% 8.4% ろがない 医療保険や年金などの社会保障が 12.5% 18.7% 10.4% 16.4% 18.9% 12.1% 6.3% 12.4% 不十分である 税金、社会保障などの手続きがわか 8.2% 9.4% 2.7% 16.6% 6.1% 6.3% 9.4% 9.9% らない、煩雑である その他 0.2% 1.6% 0.0% 0.0% 0.0% 1.1% 0.3% 1.1% 特に課題はない 21.5% 20.3% 23.3% 15.7% 27.3% 38.9% 22 1% 22.8%

図表 6-5-6 独立自営業を続ける上での問題点 (MA) (仕事別) (列%)

(2)整備・充実を求める保護政策

図表 6-5-7 の整備・充実を求める保護施策を取り上げる。全体を見ると、割合が高い (10% 以上)のは、「取引相手との契約内容の書面化の義務付け」、「取引相手との契約内容の決定や変更の手続き(プロセス)の明確化」、「取引相手からの報酬支払い時期の遅延や減額を禁止するルール」、「取引相手が、不正を告発した独立自営業者に対して、不利益な取り扱いを禁止すること」、「取引相手が、正当な理由なしに契約を終了させることを禁止するルール」、「独立自営業者の仕事について、最低限支払われるべき報酬額を定めたルール」、「作業中に生じた怪我や病気について、取引相手が加入する保険から補償を受けることができるルール」、「トラブルがあった場合に、相談できる窓口やわずかな費用で解決できる制度」、「特に必要な事項はない」の 9 項目である。「特に必要な事柄はない」の割合は 43.0% で、この

割合が最も高い。

「クラウドワーカー」全体を見ると、上記の9項目は割合が高い傾向にある。それぞれの割合を見ると、全体と5ポイント以上の差があるのは、「特に必要な事柄はない」のみである。また、上記以外の項目では、「クラウドワーカー」全体は、全体に比べて、「作業中に生じた怪我や病気について、取引相手が加入する保険から補償を受けることができるルール」の割合が低く、「妊娠中や育児・介護中の独立自営業者に対して不利益な取り扱いを禁止するルール」と「公的機関において、予め、自身が法律上の労働者として保護対象となるのかを確認できる制度」の割合が高い。

「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、仕事の内容によって、整備・充実を求める保護政策が異なることがわかる。その特徴を列記すれば、「取引相手との契約内容の書面化の義務付け」では、「IT 関連」の割合が高く、「現場作業関連」で割合が低いこと、「取引相手との契約内容決定や変更手続き(プロセス)の明確化」では、「IT 関連」と「専門業務関連」の割合が高いこと、「取引相手が、不正を告発した独立自営業者に対して、不利益な取り扱いを禁止するルール」では、「生活関連サービス、理容・美容」の割合が特に低いこと、「取引相手が、正当な理由なしに契約を終了させることを禁止するルール」では、「デザイン・映像製作関連」、「IT 関連」、「専門業務関連」の割合が高く、「生活関連サービス、理容・美容」と「現場作業関連」の割合が低いこと、「トラブルがあった場合に、相談できる窓口やわずかな費用で解決できる制度」では、「専門業務関連」の割合が高いこと、「特に必要な事柄はない」では、「デザイン・映像製作関連」、「生活関連サービス、理容・美容」、「現場作業関連」の割合が高いことである。「クラウドワーカー」を仕事別に見ると、仕事によって、整備・充実を求める保護政策は異なるが、特に、「IT 関連」と「専門業務関連」において、保護政策に対するニーズは高いようである。

図表 6 - 5 - 7 整備・充実を求める保護政策 (MA) (仕事別) (列%)

	事務関連	デザイン・映 像製作関連	IT関連	専門業務関連	生活関連サー ビス、理容・ 美容	- 現場作業関連	クラウドワー カー全体	全体
n	586	64	73	217	33	95	1068	8256
取引相手との契約内容の書面化の義務付け	24. 6%	18. 8%	31. 5%	27. 2%	18. 2%	10. 5%	23. 8%	23. 1%
取引相手との契約内容の決定や変更の手続き (プロセス) の明確化	18. 1%	18. 8%	26. 0%	20. 7%	6. 1%	8. 4%	18.0%	19. 0%
仲間同士で集まり、取引相 手と契約内容について交渉 し取り決めることに関する ルール	8. 0%	9. 4%	13. 7%	7. 8%	3.0%	10. 5%	8. 5%	9. 6%
取引相手からの報酬支払い時期の遅延や減額を禁止するルール	20. 1%	23. 4%	24. 7%	18. 9%	3.0%	7. 4%	18. 7%	15. 1%
取引相手が、不正を告発し た独立自営業者に対して、 不利益な取り扱いを禁止す ること	10. 2%	15. 6%	19. 2%	14. 7%	6. 1%	9. 5%	11. 9%	10. 2%
公的機関において、予め、 自身が法律上の労働者とし て保護対象となるのかを確 認できる制度	9. 6%	10. 9%	16. 4%	12. 4%	9. 1%	3. 2%	10. 1%	9. 0%
取引相手が、正当な理由なしに契約を終了させることを禁止するルール	15. 5%	21. 9%	24. 7%	17. 1%	3.0%	6. 3%	15. 6%	13. 6%
独立自営業者が過重労働とならないよう、取引相手に 発注量や納期期間に関する 基準を定めたルール	7. 8%	6. 3%	12. 3%	11. 1%	6. 1%	1.1%	8. 1%	7. 4%
独立自営業者の仕事について、最低限支払われるべき 報酬額を定めたルール	16.0%	20. 3%	23. 3%	23. 0%	6. 1%	6. 3%	17. 0%	14. 8%
取引相手に対して、作業スペースの安全確保を行うことを定めたルール	4. 6%	6. 3%	8. 2%	3.7%	0.0%	5. 3%	4. 7%	4. 8%
作業中に生じた怪我や病気 について、取引相手が加入 する保険から補償を受ける ことができるルール	8. 2%	6. 3%	12. 3%	10. 1%	9. 1%	4. 2%	8. 4%	11. 2%
トラブルがあった場合に、 相談できる窓口やわずかな 費用で解決できる制度	21. 3%	26. 6%	26. 0%	30. 4%	12. 1%	11. 6%	22. 7%	20. 6%
妊娠中や育児・介護中の独立自営業者に対して不利益 な取り扱いを禁止するルー ル	11. 8%	9. 4%	12.3%	12. 4%	9. 1%	8. 4%	11. 4%	7. 1%
その他	0. 9%	0.0%	0.0%	0. 5%	0.0%	0.0%	0. 6%	0. 9%
特に必要な事柄はない	35. 0%	43. 8%	32. 9%	30. 4%	63. 6%	54. 7%	37. 1%	43. 0%

第6節 おわりに

第6章では、「独立自営業者」全体、「クラウドワーカー」全体、「クラウドワーカー」を 仕事別に見た時の就業実態を見てきた。ここでは、主にサンプル全体と「クラウドワーカー」 全体を比較した時に見られる特徴を簡潔についてまとめていく⁵。

1. 本章の内容

- ① 「クラウドワーカー」のプロフィールの特徴は、「男性」よりも「女性」が多いことである。年齢構成を見ると、「クラウドワーカー」は、サンプル全体に比べて、年齢の若い層が多い。学歴は、「大学」が最も多く、婚姻状態では、「既婚」が多い。主な生計では、「クラウドワーカー」全体は「自分」の割合が最も高いが、「自分以外」の割合も高い。専業・兼業では、サンプル全体は「専業」と「兼業」がほぼ同じ割合であるが、「クラウドワーカー」は「兼業」が多い。
- ② 仕事の受注に見られる「クラウドワーカー」の特徴は、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織から」の割合が高いことである。作業内容、受注の困難さ、取引相手の3点から、受注した作業について見ると、作業内容では、サンプル全体が自分にしかできない作業が多い傾向が見られるのに対し、「クラウドワーカー」は、他の人でもできる作業が多かったという傾向が見られた。仕事の受注の困難さでは、サンプル全体は、仕事をとりたい時に思うようにとれた傾向が見られるのに対し、「クラウドワーカー」は仕事をとりたい時にとれたこともあれば、他の同業者との競合で思うようにとれなかったという結果が見られた。取引相手については、サンプル全体と比べると、「クラウドワーカー」全体は、複数の取引相手と仕事をする傾向が見られた。
- ③ 契約内容が書面を通じて明示されているかどうかを見ると、「クラウドワーカー」は明示されるケースが多い。また、その契約期間は短い傾向が見られる。契約を結ぶ取引社数を見ると、「クラウドワーカー」は、「1社」と「2~4社」の割合が高い。「クラウドーカー」は、不特定多数の企業と取引をするより、特定の企業と取引していると考えられる。契約内容の決定パターンにおける「クラウドワーカー」全体の特徴は、「第三者の定めるルールに沿って決定した」の割合が最も高いことにある。ここで言う第三者とは、クラウドソーシングの会社や仲介会社等を指す。
- ④ 受注後の作業の進め方についてみると、「クラウドワーカー」は、「一人で全ての作業を実施した」の割合が最も高い。また、外部の組織や集まり(ネットワーク)への参加状況を見ると、「クラウドワーカー」全体で参加しているのは3割であり、それほど積極的に活用しているとは言い難い。主たる取引先への進捗報告の頻度では、「クラウドワーカー」は、進捗報告を求められなかった割合が高い。主たる取引先からの指示の頻度

⁵ なお、本章の内容では、「クラウドワーカー」を中心に取り上げる関係上、サンプル全体に見られる傾向については詳しく取り上げない。詳細については、本章の各データを参照されたい。

では、作業内容・範囲、作業を行う日・時間、作業を行う場所の3点について見たが、「クラウドワーカー」では、主たる取引先から指示を受けなかった割合は、指示を受けた割合より高い。「クラウドワーカー」は、1人で作業する機会が多いこと、さらに主たる取引先に進捗報告を行ったり、主たる取引先から指示を受けたりせずに作業に従事することが多い。

- ⑤ 主たる取引先から無理な依頼をされたり、仕事を中断せざるを得なかったりする際の対応では、「クラウドワーカー」は、「常に問題なく断られた」と「そのような仕事を依頼されることはなかった」の割合が高い。契約の打ち切りがあったかどうかを見ると、その割合は、「クラウドワーカー」は 15%である。「クラウドワーカー」は、無理な仕事を依頼されたり、仕事を中断せざるを得なくなったりするトラブルにあうケースも多くなければ、契約の打ち切りにあう可能性も低い。
- ⑥ 1ヵ月あたりの平均的な作業日数を見ると、「7日以下」の割合では、サンプル全体が3割強、「クラウドワーカー」は5割を超える。サンプル全体に比べ、「クラウドワーカー」の平均的な作業日数は短い傾向にある。次に、1週間あたりの平均的な作業時間を見ると、サンプル全体では、作業時間が長いこともあれば、短いケースが見られる一方で、「クラウドワーカー」では、「1時間以上10時間未満」の割合が4割を超える。どちらのデータを見ても、「クラウドワーカー」の作業日数及び作業時間は、サンプル全体よりも短い傾向にある。
- ⑦ 2017年1~12月の「クラウドワーカー」の報酬総額は低い傾向が見られる。「50万円未満」の割合はサンプル全体よりも高い。経費の負担状況を見ると、主たる取引先が経費の多くを支給するより、僅かではあるが、「クラウドワーカー」が経費の多くを負担するケースが多い。その経費は、報酬額の3割未満になるケースが多いため、「クラウドワーカー」の実質的な年収は、さらに低くなる。また、報酬は「サービス終了または納品完了後1ヵ月以内」と「毎月15日など決まった日」といった決まった日に支払われることが多い。
- ⑧「クラウドワーカー」が、「独立自営業者」になった理由の上位3つは、自分の夢の実現やキャリアアップ、収入のアップ、自分のペースで働くことができると考えたことである。なかでも、「クラウドワーカー」ついては、収入のアップの割合が高い。「クラウドワーカー」は、経済的な理由から「独立自営業者」として働いている傾向が強い。次に、今後のキャリアをどう考えているのかを見ると、「クラウドワーカー」は、「わからない」が多く、これに「独立自営業者の仕事を兼業とする」が続く。「クラウドワーカー」は、「独立自営業者」を継続する場合でも兼業の場合が多いと考えられる。また、「クラウドワーカー」でも、「独立自営業者」をやめるという人は少ない。
- ⑨ スキルを身につけた場所では、サンプル全体は「特にない」を除けば、「関連書籍等を使って自学自習」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修および勉強会」、「同業者

(仲間や友人を含む) との勉強会、セミナーなどでの情報交換」、「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合が高い。「クラウドワーカー」の特徴は、サンプル全体に比べて、「同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換」や「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合が低く、「特にない」の割合が高いことである。最も役立った資格を身につけた場所を見ると、サンプル全体は、「関連書籍等を使って自学自習」、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」、「高校、専門学校、大学などの教育機関」の割合が高い。「クラウドワーカー」の特徴は、「通信教育やインターネット上の講習(eラーニング)」の割合が高いことである。

- ⑩ 役だった資格の有無について見ると、サンプル全体を見ても、「クラウドワーカー」を見ても、「資格あり」は3割前後になる。今後必要だと思うキャリアアップでは、「クラウドワーカー」では、「関連書籍等を使って自学自習」と「特にない」は割合が高いものの、「会社(以前の会社を含め)での経験、研修及び勉強会」、「同業者(仲間や友人を含む)との勉強会、セミナーなどでの情報交換」の割合は高くない。「クラウドワーカー」の特徴の1つは、「通信教育やインターネット上の講習(eラーニング)」の割合が高いことである。
- ① トラブル経験の有無について見ると、「クラウドワーカー」は、トラブルを経験した割合はほぼ5割である。経験したトラブルの内容を見ると、「作業内容・範囲についてもめた」、「仕様を一方的に変更された」、「一方的に作業期間・納品日を変更された」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた」、「取引相手と連絡がとれなくなった」の割合が高い。「クラウドワーカー」の特徴は、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた」、「取引相手と連絡がとれなくなった」の割合が、サンプル全体よりも高いことである。
- ② トラブルの解決状況を見てみよう。「クラウドワーカー」では、「全て解決した」の割合が「未解決のものもある」と「全く解決していない」より高いのは、「作業内容・範囲についてもめた」、「仕様を一方的に変更された」、「一方的に作業期間・納品日を変更された」、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた」、「成果物、サービスの受け取りを拒否された」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」、「予定外の経費負担を求められた」、「取引相手と連絡がとれなくなった」、「その他」の9項目である。これらのトラブルは、比較的解決しやすいと考えられる。この内、サンプル全体と「クラウドワーカー」全体を比較すると、5ポイント以上の差が見られるのは、「作業冷中で一方的に契約を打ち切られた」、「一方的に作業期間・納品日を変更された」、「作業途中で一方的に契約を打ち切られた」、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」、「予定外の経費負担を求められた」である。さらに、「報酬の支払いが遅れた・期日に支払われなかった」を除く、4項目において、「クラウドワーカー」全体はサンプル全体よりも「全て解決した」の割合が低い。これらのトラブルについては、「クラウドワーカー」はよ

り解決しづらいことがわかる。

- ③ トラブルの対処方法では、サンプル全体と「クラウドワーカー」は、「特に何もしなかった」を除けば、「取引相手と直接交渉した」と「仲介組織(クラウドソーシングの会社や仲介会社など)を通じて交渉した」の割合が高い。「クラウドワーカー」の特徴は、「仲介組織(クラウドソーシングの会社や仲介会社など)を通じて交渉した」の割合が特に高いことにある。次に、トラブル回避の方法を見ると、「クラウドワーカー」の特徴は、「特に何もやっていなかった」以外では、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織に任せていた」の割合が高いことにある。
- ④ 「独立自営業者」を続ける上での問題について見ると、「クラウドワーカー」は、「仕事を失った時の失業保険のようなものがない」、「仕事が原因で怪我や病気をした時の労災保険のようなものがない」、「キャリア形成が難しい」、「立場が弱い」、「仕事が見つかりにくい」、「収入が不安定、低い」、「医療保険や年金などの社会保障が不十分である」という問題が指摘されている。なお、サンプル全体に比べて、「クラウドワーカー」の割合が高いのは、「キャリア形成が難しい」のみである。
- ⑤ 整備・充実を求める保護政策について見ると、サンプル全体も「クラウドワーカー」全体も、求める保護政策に大きな違いは見られない。最も割合が高いのは「特に必要な事柄はない」である。これ以外でニーズの高い政策(割合の高い項目 5 つ)は、「取引相手との契約内容の書面化の義務づけ」、「トラブルがあった場合に、相談できる窓口やわずかな費用で解決できる制度」、「取引相手からの報酬支払い時期の遅延や減額を禁止するルール」、「取引相手との契約内容の決定や変更の手続き(プロセス)の明確化」、「独立自営業者の仕事について、最低限支払われるべき報酬額を定めたルール」である。

2. 考察

ここでは、「クラウドワーカー」の就業実態を取り上げる中で、重要だと思われる点について指摘する。

(1)「クラウドワーカー」の姿

最初に、サンプル全体と比較した際に、「クラウドワーカー」の姿を考えてみたい。「クラウドワーカー」の属性を見ると、その特徴として、男性よりも女性が多いこと、主たる家計維持者は本人がなる場合もあるものの、自分以外が家計維持者になることもあること、他人でもできる作業が多く、難易度の高くない作業に従事していること、「独立自営業者」として働く主な理由は、収入アップ、自分のペースで働く時間を決められると思ったこと等があげられている。

このような属性に近い労働者の働き方で、以前から存在するものとして、内職をあげることができる。厚生労働省が行う『家内労働等実態調査』(平成 29 年)によると、家内労働者

の属性は、女性が多いこと、主たる家計維持者(世帯主)は自分以外であることが多いこと、 家内労働を行う主な理由として、家計の補助、都合の良い時期・時間に働けること等があげ られている。このように、「クラウドワーカー」と家内労働者の属性には似た傾向が見られ ると考えられる。

(2) 仕事の特徴と報酬・作業時間

「クラウドワーカー」の働き方の特徴の1つに、報酬額が低いこと、受注した仕事に割く時間が短いということがあげられる。報酬額から見ていくと、「クラウドワーカー」の報酬は、ほぼ200万円未満だと言える。さらに、報酬額には経費が含まれることもあるため、その場合、「クラウドワーカー」の実質的な年収はさらに低くなると考えられる。

そこで、本章のデータから、報酬が低い背景を考えてみると、その要因の1つとして、「クラウドワーカー」の仕事の特徴が挙げられる。「クラウドワーカー」が行う仕事は、他の人でもできる作業が多く、また特定の取引相手と仕事をする傾向があるため、仕事の受注をめぐって、同業者と競合する可能性があると考えられる。この場合、仕事の件数(需要)よりも、業者(供給⁷)が多い状態(供給過多)になりやすくなると考えられ、その結果として、「クラウドワーカー」が行う仕事の報酬額は低く抑えられることになる。

また、受注した仕事に割く時間が短いことについては、以下のように考えられるかもしれない。「クラウドワーカー」の報酬額が低く、かつ作業難易度が高くないという傾向が見られることからすると、「クラウドワーカー」が仕事を完遂するには、それほど多くの日数と時間を割く必要がないと言えるかもしれない。

(3) 仲介組織が果たす役割

本章の冒頭で定義した通り、「クラウドワーカー」には、仕事を受注する際に、クラウド ソーシングの会社などの仲介組織を介すという特徴がある。つまり、「クラウドワーカー」 には、「クラウドワーカー」、取引先、仲介組織の3者関係が存在する。

この仲介組織の役割を見ると、「クラウドワーカー」に仕事を提供するだけでなく、他のサービスを提供していることが窺われる。契約内容の決定方法では、「第三者®の定めるルールに沿って決定した」の割合が、サンプル全体では5.9%であるのに対し、「クラウドワーカー」では29.4%である。トラブル対応の方法では、「仲介組織(クラウドソーシングの会社や仲介会社など)を通じて交渉した」において、トラブルの回避の方法では、「クラウドソーシングの会社や仲介会社などの仲介組織に任せていた」において、「クラウドワーカー」はサンプル全体よりも割合が高い。

 $^{^6}$ 厚生労働省『家内労働等実態調査結果の概要』(2017年)による。https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/94-1_h29.pdf(2018年 10月 12日現在)。

⁷ なお、報酬について論じる際には、働く側(供給側)のことを考慮する必要がある。この点は今後の課題である。

⁸ ここで言う第三者とは、クラウドソーシングの会社や仲介会社等を指す。

このように、クラウドソーシング等の仲介組織は、「クラウドワーカー」に業務を提供するだけでなく、契約内容の決定方法から、トラブル対応に至るまで、幅広い役割を果たしていることが窺われる。

第7章 兼業者の兼業先 の就業実態

第1節 はじめに

7章では、兼業者の兼業先の就業実態を取り上げる。兼業者とは、「独立自営業者」としての仕事に加え、「独立自営業者」以外の仕事に従事する人たちのことである。専業者は、「独立自営業者」としてのみ働く人たちのことであるから、「独立自営業者」の就業実態(第1章及び第2章)を見れば、彼(彼女)らの就業実態を把握することができるであろう。しかし兼業者は、「独立自営業者」以外の仕事も行う人たちである。したがって、兼業者の就業実態を把握するには、兼業先の就業実態にも着目する必要がある。これが兼業者の兼業先の就業実態を取り上げる理由である。

次に、どのように兼業者を抽出したのかを説明する。本調査では、スクリーニング調査の SC 7² において、専業者であるか兼業者であるか、さらに兼業者のうち、「独立自営業者」としての仕事が本業なのか、それとも「独立自営業者」としての仕事は副業なのかを区別することができる。本章では、兼業者について、「独立自営業者」の仕事が本業であるか(兼業(独立自営業が副業))に区別して分析を行う。兼業者のうち「独立自営業者」の仕事が本業の人は1335人、兼業者のうち「独立自営業者」の仕事が副業である人は2838人である。以下では、特に断らない限り、2つの数値を合計した4173人が、本章のサンプルサイズになる。

1. 兼業者のプロフィール

具体的な分析に入る前に、兼業者のプロフィールを見ておきたい (図表 7-1-1)。性別を見ると、全体では「女性」よりも「男性」が多くなっている。兼業全体を見ても、兼業者を類型別に見ても、「女性」より「男性」が多い。ただし、「兼業(独立自営業が副業)」は女性の割合が高い。

年齢を見ると、全体では、「35 歳~44 歳」と「45 歳~54 歳」が多い。兼業全体について見ると、「25 歳~34 歳」、「35 歳~44 歳」、「45 歳~54 歳」の割合が高い。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」では、「35 歳~44 歳」、「45 歳~54 歳」、「55 歳~64 歳」の割合が高い。これに対し、「兼業(独立自営業が副業)」では、「25 歳~34 歳」、「35 歳~44 歳」、「45 歳~54 歳」の割合が高い。全体に比べて、兼業者は幅広い年齢層に分布していること、独立自営業を本業としていない人ほど、年齢が若い傾向が見られる。

学歴では、どの類型においても「大学」が多く、婚姻状態では、どの類型においても、「未

¹ 兼業先とは、兼業者が「独立自営業者」としての仕事以外の仕事をする職場や組織を指す。

² SC7の設問文は、「自営業・フリーランス・個人事業主・クラウドワーカーとしてのお仕事は、専業でしたか、 兼業でしたか」であり、「1. 専業」、「2. 兼業(自営業・フリーランス・個人事業主・クラウドワーカーの仕事 が本業)」、「3. 兼業(自営業・フリーランス・個人事業主・クラウドワーカーの仕事が副業)」のうち、1つを 選択することになっている。

婚・離死別」に比べて、「既婚」が多い。主な生計では、どの類型においても「自分」が 5 割を超えており、本人が家計を支える傾向が強い。

主な仕事を見ると、全体では「専門業務関連」の割合が最も高く、これに「事務関連」と「現場作業関連」が続く。兼業全体を見ると、全体と同様、「専門業務関連」、「事務関連」、「現場作業関連」の割合が高い。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」と「兼業(独立自営業が副業)」では、「事務関連」、「専門業務関連」、「現場作業関連」の割合が高い。ただし、「兼業(独立自営業が本業)」では、「専門業務関連」の割合が特に高い。

		兼業(独立自営 業が本業)	兼業(独立自営 業が副業)	兼業全体	全体
	n	1335	2838	4173	8256
性別	男性	65.2%	56.1%	59.0%	62.9%
	女性	34.8%	43.9%	41.0%	37.1%
年齢	15歳~24歳	0.5%	1.8%	1.4%	1.1%
	25歳~34歳	13.0%	22.4%	19.4%	15.2%
	35歳~44歳	24.1%	31.4%	29.1%	26.0%
	45歳~54歳	29.5%	24.6%	26.2%	28.0%
	55歳~64歳	20.8%	13.0%	15.5%	18.0%
	65歳以上	12.0%	6.8%	8.5%	11.6%
学歴	中学·高校	22.6%	18.8%	20.0%	21.0%
	各種専門	10.5%	10.0%	10.2%	10.6%
	短大·高専	13.3%	14.1%	13.8%	13.6%
	大学	45.7%	48.7%	47.7%	47.7%
	大学院	7.8%	8.3%	8.2%	6.9%
	無回答	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
婚姻状態	未婚・離死別	44.5%	38.2%	40.2%	39.1%
	既婚	55.5%	61.8%	59.8%	60.9%
主な生計	自分	55.7%	54.7%	55.0%	54.8%
	双方	24.6%	23.8%	24.1%	23.7%
	自分以外	19.0%	20.9%	20.2%	20.7%
	その他	0.7%	0.6%	0.7%	0.9%
主な仕事	事務関連	16.0%	27.4%	23.8%	18.9%
	デザイン・映像製作関連	8.2%	8.7%	8.6%	8.9%
	IT関連	7.3%	7.6%	7.5%	8.5%
	専門業務関連	44.9%	33.2%	36.9%	39.6%
	生活関連サービス、理容・美容	9.7%	9.2%	9.4%	9.0%
	現場作業関連	13.8%	13.9%	13.9%	15.2%

図表 7-1-1 兼業者のプロフィール (列%)

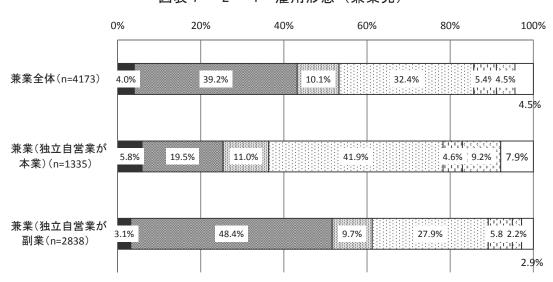
第2節 兼業先でのキャリア

本章に関わる範囲で、兼業先でのキャリアを見ておこう。ここでは、兼業先の雇用形態と兼業先の勤続年数を取り上げる。

1. 雇用形態 (兼業先)

図表 7-2-1 は、兼業先の雇用形態を示している。兼業全体を見ると、割合が高いのは、「正社員」と「パート・アルバイト」である。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業

が本業)」では「パート・アルバイト」の割合が4割を超えており、「兼業(独立自営業が副業)」では、「正社員」が5割近くになっている。正社員以外の割合(「契約社員」、「パート・アルバイト」、「派遣社員」、「その他」の合計)を見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は66.7%、「兼業(独立自営業が副業)」は45.6%になる。「兼業(独立自営業が本業)」は正社員以外の割合が高く、「兼業(独立自営業が副業)」は正社員の割合が高い。



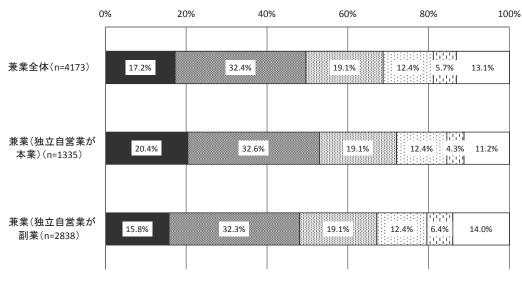
図表 7 - 2 - 1 雇用形態 (兼業先)

■会社役員 ■正社員 圏契約社員 ロパート・アルバイト 口派遣社員 ロその他 口無回答

2. 勤続年数 (兼業先)

兼業先の勤続年数を見ると(図表 7-2-2)、兼業全体では、「 $1\sim5$ 年未満」の割合が最も高く、これに「 $5\sim10$ 年未満」と「1 年未満」が続く。この 3 つの割合で 6 割を超える。10 年以上の割合(「 $10\sim15$ 年未満」、「 $15\sim20$ 年」、「20 年以上」の合計)を見ると、兼業全体は 31.2%になる。

兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」と「兼業(独立自営業が副業)」では、「 $1 \sim 5$ 年未満」の割合が最も高く、これに「1年未満」と「 $5 \sim 10$ 年未満」が続く。どちらも、この 3 つの割合で 6 割を超える。他方で、10 年以上の割合を見ると、「兼業(独立自営業が副業)(32.8%)」は、「兼業(独立自営業が本業)(27.9%)」より高い。独立自営業を本業としない人ほど、兼業先の勤続年数が長い傾向が見られる。



図表 7 - 2 - 2 勤続年数 (兼業先)

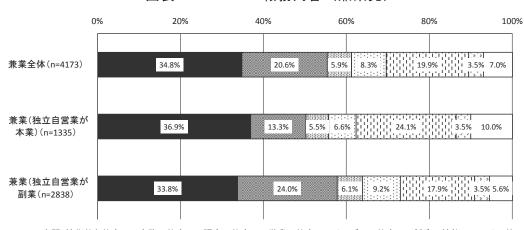
■1年未満 ■1~5年未満 ■5~10年未満 □10~15年未満 □15~20年未満 □20年以上

第3節 兼業先の仕事に関わる事柄

第3節では、兼業先の仕事に関わる事柄を取り上げる。兼業先の仕事に関わる事柄には、 兼業先の職務内容、兼業先と「独立自営業者」の仕事との同質性(仕事の同質性)、兼業先 の仕事で身につけたノウハウや能力が「独立自営業者」の仕事に役立っているかどうか(能 力やノウハウの関連性)が含まれる。

1. 職務内容(兼業先)

図表7-3-1は、兼業先の職務内容を示している。兼業全体を見ると、「専門・技術的な仕事」の割合が最も高く、これに「事務の仕事」と「サービスの仕事」が続く。



図表 7 - 3 - 1 職務内容(兼業先)

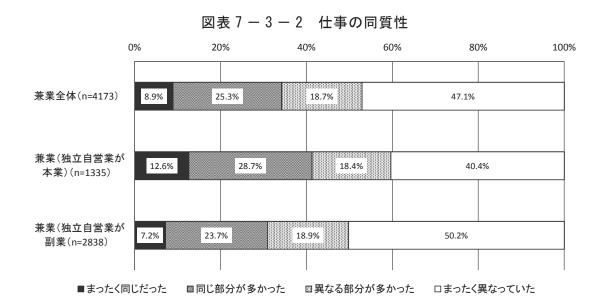
■専門・技術的な仕事 ◎事務の仕事 ②販売の仕事 □営業の仕事 □サービスの仕事 □製造の技能工 □その他

兼業者を類型別に見ると(図表 7 - 3 - 1)、「兼業(独立自営業が本業)」では、「兼業(独立自営業が副業)」に比べて、「専門・技術的な仕事」と「サービスの仕事」の割合が高い。これに対し、「兼業(独立自営業が副業)」は、「兼業(独立自営業が本業)」より、「事務の仕事」の割合が高い。

2. 兼業先の仕事と「独立自営業者」としての仕事の同質性(仕事の同質性)

仕事の同質性は、兼業先の仕事と「独立自営業者」としての仕事がどの程度関連しているかを示している。兼業先の仕事と「独立自営業者」の仕事において、同質性が高い割合(「まったく同じだった」と「同じ部分が多かった」の合計)と、同質性が低い割合(「異なる部分が多かった」と「まったく異なっていた」の合計)に分けて見る。

同質性が高い割合を見ると、兼業全体は 34.2%、「兼業 (独立自営業が本業)」は 41.3%、「兼業 (独立自営業が副業)」は 30.9%になる。他方で、同質性が低い割合を見ると、兼業全体は 65.8%、「兼業 (独立自営業が本業)」は 58.8%、「兼業 (独立自営業が副業)」は 69.1%になる。兼業全体を見ても、兼業者を類型別に見ても、同質性は低い傾向が見られる (図表 7-3-2)。



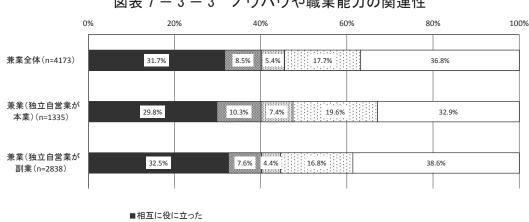
3. ノウハウや職業能力の関連性

ノウハウや職業能力の関連性は、兼業先と「独立自営業者」としての仕事において、必要なノウハウや職業能力がどの程度役に立ったかを示している(図表 7 - 3 - 3)。

ノウハウや職業能力が役に立った割合(「相互に役に立った」、「独立自営業以外の仕事で培われたものが独立自営業の仕事で役立った」、「独立自営業の仕事で培われたものが独立自営業以外の仕事で役に立った」の合計)を算出すると、兼業全体は45.6%、「兼業(独立自営業が

本業) | は47.5%、「兼業(独立自営業が副業) | は44.5%になる。いずれも、その半数近くで ノウハウや職業能力が役立っていること、兼業者を類型別に見ると、独立自営業を本業とする 人ほど、ノウハウや職業能力が役立っている傾向が見られる。他方で、「関係性はなかった」 の割合を見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は「兼業(独立自営業が副業)」よりも低い。

僅かな差ではあるが、独立自営業を本業とする人は、兼業先と「独立自営業者」の仕事に おいて、ノウハウや職業能力の関連性が強いのに対し、独立自営業を本業としない人は、兼 業先と「独立自営業者」としての仕事に関連性が弱いという傾向が見られる。



図表 7 - 3 - 3 ノウハウや職業能力の関連性

■独立自営業以外の仕事で培われたものが独立自営業の仕事で役に立った

図独立自営業の仕事で培われたものが独立自営業以外の仕事で役に立った

ロどちらともいえない

□関係性はなかった

第4節 働き方/年収/申告の有無/仕事の満足度

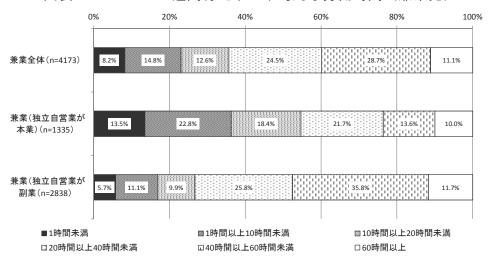
第4節では、働き方(1週間あたりの平均的な労働時間と働き方にかかわる裁量)、年収(兼 業先)、兼業先への申告の有無、仕事の満足度(兼業先)を取り上げる。

1. 働き方

(1) 1週間あたりの平均的な労働時間(兼業先)

図表7-4-1には、1週間あたりの平均的な労働時間を示している。兼業全体を見ると、 「20 時間以上 40 時間未満」と「40 時間以上 60 時間未満」の割合が高い。兼業全体の平均 的な労働時間は、フルタイムに近い傾向が見られる。

兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は、「兼業(独立自営業が副業)」 に比べて、「1 時間未満」、「1 時間以上 10 時間未満」、「10 時間以上 20 時間未満」の割合が 高い。他方で、「兼業(独立自営業が副業)」は、「兼業(独立自営業が本業)」に比べて、「20 時間以上40時間未満」と「40時間以上60時間未満」の割合が高い。兼業先の1週間あた りの平均的な労働時間について言えば、独立自営業を本業としている人の労働時間は短く、 独立自営業を本業としない人の労働時間は、フルタイムに近い傾向が見られる。

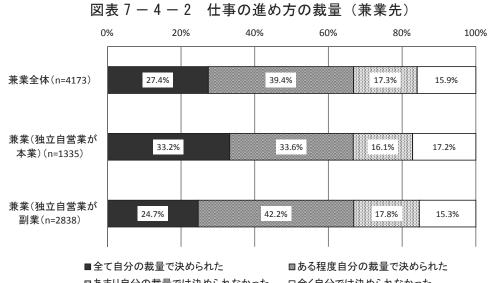


図表 7 - 4 - 1 1週間あたりの平均的な労働時間 (兼業先)

(2) 働き方にかかわる裁量(兼業先)

①仕事の進め方の裁量

兼業先の働き方にかかわる裁量では、仕事の進め方と働く時間の裁量を取り上げる。仕事 の進め方から見ると(図表7-4-2)、「独立自営業者」に裁量があった割合(「全て自分 の裁量で決められた」と「ある程度自分の裁量で決められた」の合計)と裁量がなかった割 合(「あまり自分の裁量では決められなかった」と「全く自分では決められなかった」の合計) に分けて見ると、兼業全体は裁量があった割合(66.8%)が高い。



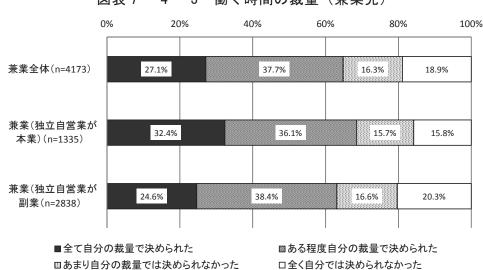
■あまり自分の裁量では決められなかった □全く自分では決められなかった

兼業者を類型別に見ると (図表 7-4-2)、裁量があった割合は、「兼業(独立自営業が 本業)」では66.8%、「兼業(独立自営業が副業)」では66.9%になる。

②働く時間の裁量

次に、働く時間の裁量を取り上げる(図表 7-4-3)。仕事の進め方と同様に、「独立自営業者」に裁量があった割合と裁量がなかった割合に分けて見ると、兼業全体では、裁量があった割合(64.8%)が高い。

兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は 68.5%、「兼業(独立自営業が 副業)」は 63.0%である。働く時間の裁量があった割合では、「兼業(独立自営業が本業)」 は「兼業(独立自営業が副業)」よりも高い。

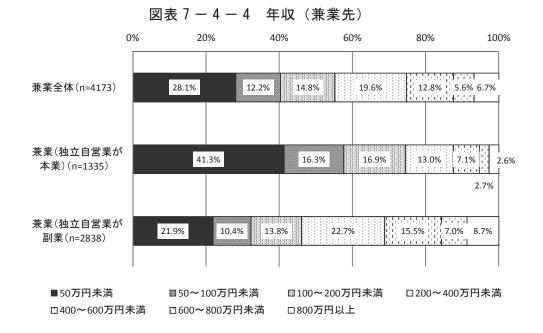


図表 7 - 4 - 3 働く時間の裁量 (兼業先)

2. 年収(兼業先)

2017 年 1 月から 12 月にかけての兼業先からの年収を見てみよう(図表 7-4-4)。兼業全体を見ると、「50 万円未満(28.1%)」の割合が高い。さらに、200 万円未満の割合(「50 万円未満」、「 $50\sim100$ 万円未満」、「 $100\sim200$ 万円未満」の合計)を見ると、兼業全体は55.1%に上る。400 万以上の割合(「 $400\sim600$ 万円未満」、「 $600\sim800$ 万円未満」、「800 万円以上」の合計)について見ると、兼業全体は25.1%である。

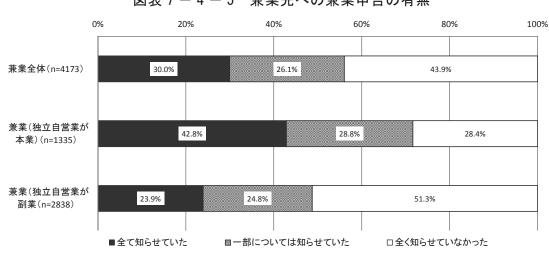
兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は、「50万円未満(41.3%)」の割合が高い。また、200万円未満の割合は74.5%、400万円以上の割合は12.4%になる。これに対し、「兼業(独立自営業が副業)」では、「50万円未満」の割合は21.9%である。200万円未満の割合は46.1%、400万円以上の割合は31.2%になる。兼業先からの年収については、「兼業(独立自営業が本業)」に比べ、「兼業(独立自営業が副業)」は高い傾向にある。



3. 兼業先への兼業申告の有無

兼業先への兼業申告の有無とは、兼業先に独立自営業の仕事をしていることを申告しているかどうかを指す。図表 7-4-5 によると、兼業全体では、「全く知らせてはいなかった」の割合が 4 割を超える。他方で、兼業先に兼業申告をしている割合(「全て知らせていた」と「一部については知らせていた」の合計)は 56.1%になる。

兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」では、「全て知らせていた」の割合が4割を超えているのに対し、「兼業(独立自営業が副業)」の割合は2割強である。兼業先に兼業申告をしている割合は、「兼業(独立自営業が本業)」は71.6%、「兼業(独立自営業が副業)」は48.7%になる。独立自営業を本業とする人ほど、兼業先に兼業申告をする傾向が強い。

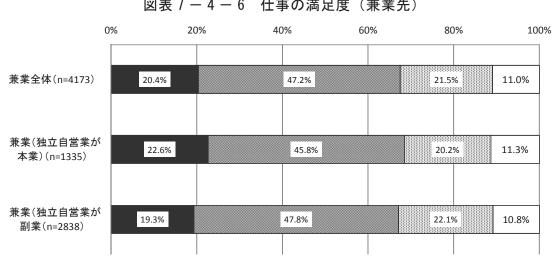


図表 7 - 4 - 5 兼業先への兼業申告の有無

4. 仕事の満足度(兼業先)

最後に、兼業先の仕事の満足度を取り上げる(図表7-4-6)。兼業先の仕事に満足し ている割合 (「満足している」と「ある程度満足している」 の合計) と満足していない割合 (「あ まり満足していない」と「全く満足していない」の合計)に分けて見ると、兼業全体では満 足している割合(67.6%)が高い。

兼業者を類型別に見ると、兼業先の仕事に満足している割合は、「兼業者(独立自営業が 本業)」は68.4%、「兼業者(独立自営業が副業)」は67.1%である。「独立自営業者」の仕 事を本業とするか、副業とするかに関わらず、兼業者の7割弱は、兼業先の仕事に満足して いる。



図表 7 - 4 - 6 仕事の満足度 (兼業先)

■満足している 図ある程度満足している 図あまり満足していない □全く満足していない

第5節 おわりに

7章では、兼業者を対象に、兼業先の就業実態を取り上げた。その特徴のまとめと考察を 行い、本章の結びとしたい。

1. 本章の概要

① 兼業者のプロフィールを見ると、兼業者は女性よりも男性が多い。年齢を見ると、兼業 全体は、[25歳~34歳]、[35歳~44歳]、[45歳~54歳]の割合が高い。年齢につ いて細かく見ると、「兼業(独立自営業が副業)」では、「25歳~34歳」、「35歳~44歳」、 「45歳~54歳」の割合が高い。独立自営業を本業としていない人ほど、年齢が若い傾 向が見られる。学歴では、「大学」が多く、「婚姻状態」では「既婚」が多い。ただし、 主な生計では、本業と副業で大きな違いは見られず、「自分」が最も多い。その割合は 5割を超えている。主な仕事では、サンプル全体と兼業全体では、「専門業務関連」、「事 務関連」、「現場作業関連」の割合が高い。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」では、「専門業務関連」の割合が高く、「兼業(独立自営業が副業)」では、「事務関連」の割合が高い。

- ② 兼業先のキャリアを見ると、兼業先の雇用形態で多いのは、「正社員」と「パート・アルバイト」である。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は「パート・アルバイト」の割合が4割を超え、「兼業(独立自営業が副業)」では、「正社員」が5割近くになる。正社員以外の割合を見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は66.7%、「兼業(独立自営業が副業)」は45.6%になる。
- ③ 兼業先の勤続年数に見られる兼業全体の傾向は、10年未満の割合が高いことである。 この結果は、兼業者を類型別に見てもあてはまる。10年以上の割合を見ると、「兼業(独立自営業が副業)」は、「兼業(独立自営業が本業)」より高い。独立自営業を本業としていない人ほど、兼業先の勤続年数は長い傾向が見られる。
- ④ 兼業先の職務について見ると、兼業全体では、「専門・技術的な仕事」の割合が最も高く、これに「事務の仕事」と「サービスの仕事」が続く。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」では、「兼業(独立自営業が副業)」に比べて、「専門・技術的な仕事」と「サービスの仕事」の割合が高い。これに対し、「兼業(独立自営業が副業)」は、「兼業(独立自営業が本業)」より「事務の仕事」の割合が高い。
- ⑤ 仕事の同質性とは、兼業先の仕事と「独立自営業者」の仕事がどの程度関連しているかを示す。2つの仕事が異っている(同質性が低い)と回答した人の割合は、兼業全体および兼業者を類型別に見ても、6~7割程度になる。その割合は、特に「兼業(独立自営業が副業)」が高い。次に、兼業先と「独立自営業者」としての仕事におけるノウハウや職業能力の関連性を見ると、ノウハウや職業能力が役に立った割合は、兼業全体を見ても、兼業を類型別に見ても、半数近くに上る。
- ⑥ 兼業先での1週間あたりの平均的な労働時間を見ると、兼業全体は、「20時間以上40時間未満」と「40時間以上60時間未満」の割合が高く、フルタイムに近いことがわかる。兼業者を類型別に見ると、「専業(独立自営業が本業)」は、「兼業(独立自営業が副業)」に比べて、兼業先での労働時間は短いのに対し、「兼業(独立自営業が副業)」は、「兼業(独立自営業が本業)」に比べて、兼業先での労働時間が長い傾向を示している。
- ⑦ 働き方に関わる裁量では、仕事の進め方の裁量と働く時間の裁量がある。仕事の進め方について、裁量があった割合と裁量がなかった割合に分けて見ると、兼業全体は裁量があった割合(66.8%)が高い。兼業者を類型別に見ると、裁量があった割合は、「兼業(独立自営業が本業)(66.8%)」、「兼業(独立自営業が副業)(66.9%)」で変わらない。働く時間の裁量について見ると、兼業全体では、裁量があった割合(64.8%)が高い。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は68.5%、「兼業(独立自営業が副業)」は63.0%である。独立自営業が本業であるか副業であるかを問わず、仕事の進

め方と働く時間の裁量が兼業者に比較的与えられている。

- ⑧ 兼業先からの年収では、兼業者全体は「50万円未満」が最も割合が高い。200万円未満の割合は55.1%、400万円以上の割合は25.1%になる。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」は、「50万円未満(41.3%)」の割合が高い。200万円未満の割合は74.5%、400万円以上の割合は12.4%になる。「兼業(独立自営業が副業)」では、「50万円未満」の割合は21.9%、200万円未満の割合は46.1%、400万円以上の割合は31.2%になる。「独立自営業者」の仕事を本業としていない人ほど、兼業先の年収は高い傾向が見られる。
- ⑨ 兼業先への兼業申告の有無では、兼業全体は、「全く知らせていなかった」の割合が4割を超える一方で、兼業先に兼業申告をしているは56.1%になる。兼業者を類型別に見ると、「兼業(独立自営業が本業)」では、「全て知らせていた」の割合が4割を超えているのに対し、「兼業(独立自営業が副業)」の割合は2割強である。兼業先に兼業申告をしている割合は、「兼業(独立自営業が本業)(71.6%)」、「兼業(独立自営業が副業)(48.7%)」になる。独立自営業を本業としている人は、兼業先に兼業申告をする傾向にある。
- ⑩ 兼業先の仕事の満足度については、兼業先の仕事に満足している割合と満足していない割合の2つに分けて見ると、兼業全体では満足している割合(67.6%)が高い。兼業者を類型別に見ると、兼業先の仕事に満足している割合は、「兼業者(独立自営業が本業)」は68.4%、「兼業者(独立自営業が副業)」は67.1%である。「独立自営業者」の仕事を本業とするか、副業とするかに関わらず、兼業者の7割弱は、兼業先の仕事に満足していると考えられる。

2. 考察

ここでは、兼業者が自ら兼業という働き方を選んだのか、それともやむを得ず兼業を選択せざるを得なかったのかに着目する。非正規労働者の中には、正社員として働く機会に恵まれず、不本意ながら非正規労働者として働く人がいる 3 。兼業者は被雇用者である可能性が高いため、2つの仕事に対する満足度を取り上げることで、兼業者の中に不本意就労の人が含まれるかどうかを見ておく。

図表7-5-1は、「独立自営業者」としての仕事全体の満足度と、兼業先の仕事の満足度の関係を取り上げている。具体的には、それぞれの仕事に対する満足度を、「満足している」と「満足していない」に分けて、両者の関係を見ている。

これによると、2つの仕事に満足している人は53.1%、「独立自営業者」としての仕事全体に満足しているが、兼業先の仕事に満足していない人は13.6%、「独立自営業者」として

³ 厚生労働省『平成 26 年就業形態の多様化に関する総合実態調査の概況』による。https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/keitai/14/dl/02-02.pdf(2018 年 10 月 14 日現在)

の仕事全体に満足していないが、兼業先の仕事に満足している人は 14.5%、2 つの仕事に満足していない人は 18.9%になる。どちらかの仕事に満足している人は 81.2% (「2 つの仕事を満足している」、「独立自営業者としての仕事全体に満足しているが、兼業先の仕事に満足していない人」「独立自営業者としての仕事全体に満足していないが、兼業先の仕事に満足している人」の合計)に上る。

図表 7 - 5 - 1 「独立自営業者」としての仕事全体の満足度と兼業先の仕事の満足度

		兼業先の仕事の満足度		
		満足している (n=2818)	満足していない (n=1355)	
の 仕事全 体 体	満足している (n=2781)	53. 1%	13. 6%	
本の満足度	満足していない(n=1392)	14. 5%	18. 9%	

このデータから言えることは、兼業者の多くは、少なくともどちらかの仕事に満足しているということである。例えば、兼業先の仕事の内容に不満があっても、「独立自営業者」としての仕事の内容に満足している可能性があり、また、「独立自営業者」としての仕事の収入が低いことに不満を感じている場合、兼業先の仕事を通じて、一定額の年収を確保することができれば、兼業先の仕事に満足する可能性があると考えられる。つまり、兼業者はどちらかの仕事に対して不満を感じていても、もう一方の仕事に満足していれば、その不満を軽減していることが考えられる。

既に見てきた通り、兼業者は、年収が安いといったネガティブな側面がないわけではないが、2つの仕事に対する満足度を見る限り、ポジティブな働き方だと見る方が、その就業実態をうまく捉えられているのかもしれない。